

## 第77回分析化学討論会

### 研究発表プログラム

- この講演プログラム4月7日現在のものです。
- 座長は当日に変更になる場合もあります。
- 口頭発表の講演時間は、主題講演20分（講演15分、討論3分）、一般講演15分（講演12分、討論3分）、テクノレビュー講演30分（講演25分、討論5分）、です。
- なお、討論主題の依頼講演は原則として20分又は30分（討論5分を含む）です。
- ポスター発表の掲示可能時間は以下のようになります。（括弧内はコアタイム）講演番号の末尾が奇数は午前の部、偶数は午後の部になります（産業界R&D紹介ポスター講演は除く）。

[5月27日(土)]

午前の部 若手ポスター 10:30～12:15 (10:45～12:15)

午後の部 若手ポスター 12:15～14:00 (12:30～14:00)

産業界R&D紹介ポスター（一般公開）

14:00～16:30 (14:00～15:30)

[5月28日(日)]

午前の部 一般ポスター 10:30～14:30 (10:45～12:15)

午後の部 一般ポスター 10:30～14:30 (12:30～14:00)

- 講演の発表者（登壇者）に○印を付けています。
- 討論主題講演（依頼講演を含む）の末尾には「\*」を、テクノレビュー講演の末尾には「T」を付けています。
- ポスター発表の場合には、一般講演ポスター発表（テクノレビュー・産業界R&D紹介ポスターを含む）は「P」、若手講演ポスター発表は「Y」と明記しています。
- 産業界R&D紹介ポスター講演の末尾には「S」を付けています。
- 討論主題7「分析化学における実験データの正しい扱い方」と討論主題8「お酒の科学」及び産業界R&D紹介ポスターは一般公開です。
- 講演番号I1001\*及びJ1001\*は、趣旨説明ですので講演要旨は掲載していません。
- 本講演プログラムは講演申込者がオンライン登録したデータをそのまま掲載していますが、所属略称等は修正している場合があります。
- 会場の都合等で講演プログラムを変更する場合があります。

### 【 A 会 場 】

#### 第1日 (5月27日)

座長 吉田裕美

A1001 (9:30～9:45) カフェイン酸の紫外線照射に伴う電気化学応答の変化（神戸大院海事<sup>1</sup>・奈良教大<sup>2</sup>）○堀田 弘樹<sup>1,2</sup>・和泉 杏奈<sup>2</sup>・中島 雄飛<sup>2</sup>・三好 憲<sup>2</sup>・松本 健嗣<sup>1</sup>

A1002 (9:45～10:00) 高性能甲酸/酸素バイオ燃料電池の機能解析（京大院農<sup>1</sup>・立命館大<sup>2</sup>）○阪井 研人<sup>1</sup>・北隅 優希<sup>1</sup>・白井 理<sup>1</sup>・高木 一好<sup>2</sup>・加納 健司<sup>1</sup>

A1003 (10:00～10:15) 電位差測定に基づいた異化金属還元細菌による還元機構の解析（阪府大院工）○石木 健吾・岡田 和也・椎木 弘・長岡 勉

A1004 (10:15～10:30) Application of an electroactive nanostructure for bacterial sensing（阪府大院工）○Nguyen, Quang Dung・木下 隆将・椎木 弘・長岡 勉

[PC設定時間]

座長 堀田弘樹

A1005 (10:45～11:00) 温度変調ボルタンメトリーを用いた鉛イオンの定量（信州大理）○前 僚太・樋上 照男

A1006 (11:00～11:15) 導電体分離水系によるフラーレン陰イオンラジカルと水素イオンの電子移動反応の検討（信州大理）○山本 紗綾香・波多野 佑哉・樋上 照男

A1007 (11:15～11:30) リン脂質膜透過性試験（PAMPA）に基づく薬剤の膜への分配係数の評価（神戸大院理）○藤井 湧・吉田 絵里奈・大塚 利行

座長 樋上照男

A1008 (13:30～13:45) デカフルオロペンタン | 水界面でのイオン移動ボルタンメトリー（福井県大生物資源）○片野 肇・黒田 康裕・植松 宏平

A1009 (13:45～14:00) 市販ポリチオフェン被覆電極と電解重合ポリチオフェン被覆電極の比較-酸化状態と電位安定性に注目して-（京工織大院工芸科学<sup>1</sup>・東北大多元研<sup>2</sup>）○日下部 瑛美<sup>1</sup>・中村 祐依<sup>1</sup>・吉田 裕美<sup>1</sup>・福山 真央<sup>2</sup>・前田 耕治<sup>1</sup>

A1010 (14:00～14:15) マイクロ波化学反応における金属イオンの誘電特性に関する研究（ミネルバライトラボ<sup>1</sup>・京大<sup>2</sup>）○増田 嘉孝<sup>1</sup>・松村 竹子<sup>1</sup>・小川 慎吾<sup>1</sup>・三谷 友彦<sup>2</sup>・渡辺 隆司<sup>2</sup>

A1011 (14:15～14:30) マンガン酸化物層間および層内に固定されたコバルトイオンの水酸化触媒活性（山口大院創成）○藤本 航太郎・小早川 民江・中山 雅晴

A1012 (14:30～14:45) リン酸イオンセンサーの開発および機能評価（京大院農）○徐 克彬・白井 理・北隅 優希・加納 健司

[PC設定時間]

座長 片野肇

A1013 (15:00～15:15) 化学発光測定における光導波路現象の影響（阪工大工）○藤森 啓一・井山 駿・西浦 吉彦・森内 隆代・澁谷 康彦

A1014 (15:15～15:30) 電気化学-光ファイバーセンサーから得られる酸化還元活性染料の応答特性と界面活性剤添加による効果（富山大院理工(理)<sup>1</sup>・前橋工大<sup>2</sup>）○山本 高一路<sup>1</sup>・岡崎 琢也<sup>1</sup>・織井 達也<sup>1</sup>・波多 宣子<sup>1</sup>・田口 茂<sup>1</sup>・菅原 一晴<sup>2</sup>・倉光 英樹<sup>1</sup>

A1015 (15:30～15:45) Construction and application of cell-imprinted microsphere（阪府大院工）○単 学凌・山内 卓弥・椎木 弘・長岡 勉

A1016 (15:45～16:00) 人工脂質二分子膜界面を利用するエキソソーム検出の検討（東薬大院薬<sup>1</sup>・バイオリサーチセ<sup>2</sup>）○西尾 将人<sup>1,2</sup>・森岡 和太<sup>1</sup>・柳田 顕郎<sup>1</sup>・東海林 敦<sup>1</sup>

#### 第2日 (5月28日)

座長 石坂昌司

A2001 (9:00～9:15) 分子動力学法による四級アンモニウム系イオン液体の気液界面構造の研究: カチオンの長鎖、短鎖アルキル基の組み合わせが及ぼす影響（京大院工）○片倉 誠士・西直哉・小林 和弥・天野 健一・作花 哲夫

A2002 (9:15～9:30) レーザー誘起タンパク結晶化・結晶成長促進過程の顕微分光計測（北大院理<sup>1</sup>・北大院総化<sup>2</sup>）○三浦 篤志<sup>1,2</sup>・上田 恭子<sup>2</sup>・吉松 泉<sup>2</sup>・喜多村 昇<sup>1,2</sup>

A2003 (9:30～9:45) 自然乳化を利用した一水滴内イムノアッセイ（東北大多元研<sup>1</sup>・JST さきがけ<sup>2</sup>・京工織大院工芸科学<sup>3</sup>）○福山 真央<sup>1,2</sup>・火原 彰秀<sup>1</sup>・吉田 裕美<sup>3</sup>・前田 耕治<sup>3</sup>

A2004 (9:45～10:00) リン系抽出剤含浸単一微粒子-溶液間におけるユウロピウムの分配・放出過程の解析 (筑波大院数理工質<sup>1</sup>・芝浦工大<sup>2</sup>・芝浦工大<sup>3</sup>・原子力機構<sup>4</sup>) ○大高 稔紀<sup>1</sup>・佐藤 辰巳<sup>1</sup>・中谷 清治<sup>1</sup>・名越 航平<sup>2</sup>・安倍 諒治<sup>2</sup>・新井 剛<sup>3</sup>・渡部 創<sup>4</sup>・佐野 雄一<sup>4</sup>・竹内 正行<sup>4</sup>

[PC設定時間]

座長 三浦篤志

A2005 (10:15～10:30) 気相中の黒色炭素微粒子を対象としたレーザー捕捉・顕微ラマン分光法の開発 (広島大院理) ○石坂 昌司・浦岡 将

A2006 (10:30～10:45) 単一微粒子磁化率測定に基づく酸化タンゲステン表面増強フォトクロミズム現象に関する考察 (山口大院創成科学<sup>1</sup>・山口大院理工<sup>2</sup>・カワノラボ<sup>3</sup>) ○安達 健太<sup>1</sup>・阿座上 拓<sup>1</sup>・山内 美幸<sup>1</sup>・山本 麻美<sup>2</sup>・河野 誠<sup>3</sup>

A2007 (10:45～11:00) 空気中および液体中における強磁性微粒子の自由落下磁気泳動速度 (阪大INSD) ○渡會 仁・James Djauhari

A2008 (11:00～11:15) 超音波トラッピングによる粒子表面反応の検出 (東工大理<sup>1</sup>・中部大応生<sup>2</sup>) ○宮川 晃尚<sup>1</sup>・原田 誠<sup>1</sup>・井上 嘉則<sup>2</sup>・岡田 哲男<sup>1</sup>

座長 安達健太

A2009 (13:30～13:45) ドープ氷共存液相の粘性率測定とその評価 (東工大院理工<sup>1</sup>・広島大院理<sup>2</sup>) ○稲川 有徳<sup>1</sup>・大塚 拓洋<sup>1</sup>・石川 朋己<sup>2</sup>・石坂 昌司<sup>2</sup>・岡田 哲男<sup>1</sup>

A2010 (13:45～14:00) 空間位相変調による誘導ラマン散乱顕微鏡の高空間分解能化の試み (東理大理) ○伴野 元洋・恩田 康之介・由井 宏治

A2011 (14:00～14:15) 液液界面におけるオレイン酸ナトリウム自走運動機構 (千葉大院工<sup>1</sup>・東大院総合文化<sup>2</sup>) ○綿引 靖人<sup>1</sup>・豊田 太郎<sup>2</sup>・Chiari, Luca<sup>1</sup>・野本 知理<sup>1</sup>・藤浪 真紀<sup>1</sup>

A2012 (14:15～14:30) 球状シリカ均一分散電解質水溶液系における定量<sup>23</sup>Na NMR分析と核磁気緩和現象 (神戸大環境保全推進セ<sup>1</sup>・神戸大院工<sup>2</sup>・神戸大工<sup>3</sup>) ○牧 秀志<sup>1,2</sup>・Song, Jung Eun<sup>3</sup>・水畑 穰<sup>2</sup>

[PC設定時間]

座長 伴野元洋

A2013 (14:45～15:00) カリックスアレーン-銀ナノ粒子-金属イオン系の示す多発色現象 (東北大院環境) 阿部 教恩・○壹岐 伸彦

A2014 (15:00～15:15) 酸化タンゲステンナノ粒子表面におけるカチオン性ポルフィリン色素の吸着・自己組織化：メソ位置換基のアンカー効果 (山口大理<sup>1</sup>・山口大院理工<sup>2</sup>・山口大院創成科学<sup>3</sup>) ○浦 幸正<sup>1</sup>・金只 尚也<sup>2</sup>・安達 健太<sup>3</sup>

A2015 (15:15～15:30) センシングデバイスへの応用を志向した平板状銀ナノ粒子単粒子膜の作製 (九大院工) ○高橋 幸奈・井手 奈都子・弥永 洋平・山田 淳

## 【 B 会 場 】

第1日 (5月27日)

座長 脇田慎一

[依頼講演] B1001\* (9:30～10:00) 微生物を学び、使うための機能的界面 (阪府大院工) ○椎木 弘・長岡 勉

B1002\* (10:00～10:20) ナノスケールの神経細胞の形状イメージングを実現する走査型イオンコンダクタンス顕微鏡の開発 (金沢大<sup>1</sup>・JSTさきがけ<sup>2</sup>) ○高橋 康史<sup>1,2</sup>・宮本 貴史<sup>1</sup>・周 緑殊<sup>1</sup>・福岡 剛士<sup>1</sup>

[依頼講演] B1003\* (10:20～10:50) 動く小動物を対象とした電気化学 (兵庫大院物質理学) ○安川 智之・水谷 文雄

[PC設定時間]

座長 椎木弘

B1004\* (11:00～11:20) 液膜モデル系を用いた膜電位変化の伝播と神経伝導 (京大院農) ○白井 理・北隅 優希・加納 健司

B1005\* (11:20～11:40) コール酸修飾炭素界面上でのラッカーゼの電子移動反応ならびにその修飾に及ぼす炭素界面の影響 (佐賀大院工<sup>1</sup>・佐賀大理工<sup>2</sup>) ○富永 昌人<sup>1,2</sup>・鷹取 拓弥<sup>2</sup>・筒井 源文<sup>2</sup>

座長 八谷宏光

[依頼講演] B1006\* (13:30～14:00) ガラス電極式pH測定とJCSS標準液 (CERI) ○上野 博子

B1007\* (14:00～14:20) ストレス計測評価用バイオセンシングデバイスの研究開発 (V) 唾液硝酸イオン計測による運動ストレスの基礎検討 (産総研<sup>1</sup>・米沢栄養大<sup>2</sup>・山形大院理工<sup>3</sup>) ○脇田 慎一<sup>1</sup>・加藤 守匡<sup>2</sup>・時任 静士<sup>3</sup>

座長 上野博子

[依頼講演] B1008\* (14:20～14:50) 「水」試料分析と電気化学センサー (東亜DKK) ○八谷 宏光

[PC設定時間]

座長 永谷広久

[依頼講演] B1009\* (15:00～15:30) 電気化学発光とソノケミルミネッセンスによる抗酸化能評価法の開発 (信州大理) ○金継業

B1010\* (15:30～15:50) 電気化学SPRおよびMDを用いて調べるイオン液体の電気二重層の構造緩和 (京大院工) ○新井 建・西 直哉・片倉 誠士・天野 健一・作花 哲夫

B1011\* (15:50～16:10) ナノ流路in-situでの電気的な温度測定・制御 (阪府大院工<sup>1</sup>・阪府大院理<sup>2</sup>) ○中嶋 太一<sup>1,2</sup>・許 岩<sup>1</sup>

[PC設定時間]

座長 金継業

[依頼講演] B1012\* (16:20～16:50) 液液界面におけるイオン移動・吸着反応機構の分光電気化学解析 (金沢大物質化学) ○永谷 広久

B1013\* (16:50～17:10) 液液界面におけるアニオン性ポルフィリンの吸着状態の偏光変調全内部反射蛍光測定 (金沢大院自然) ○山本 翔・永谷 広久・西山 嘉男・井村 久則

第2日 (5月28日)

座長 池庄司民夫

[依頼講演] B2001\* (9:00～9:30) 電極反応速度論の電気二重層効果 (甲南大理工) ○山本 雅博

座長 山本雅博

[依頼講演] B2002\* (9:30～10:00) 第一原理計算による電極反応速度論 (東北大) ○池庄司 民夫

B2003\* (10:00～10:20) イオンと電子の膜透過の自発的共役とその特異的挙動 (京工織大院工芸科学<sup>1</sup>・東北大多元研<sup>2</sup>) 棟安 研介<sup>1</sup>・南井 一志<sup>1</sup>・吉田 裕美<sup>1</sup>・福山 真央<sup>2</sup>・○前田 耕治<sup>1</sup>

[PC設定時間]

座長 丹羽修

**【依頼講演】** B2004\* (10:30～11:00) 液滴を用いる電気化学  
(筑波大数理物質) ○中谷 清治

B2005\* (11:00～11:20) イオンの脂質二分子膜への分配・吸着  
に関する電気化学的考察(京工織大院工芸科学<sup>1</sup>・東北大多元  
研<sup>2</sup>) ○吉田 裕美<sup>1</sup>・村上 宏司<sup>1</sup>・堀 貴翔<sup>1</sup>・宮城 政弘<sup>1</sup>・福山  
真央<sup>2</sup>・前田 耕治<sup>1</sup>

B2006\* (13:30～13:50) 酸化ナノ粉体/非水電解質溶液混合  
系における溶媒物性の液相分率および電解質濃度依存性(神戸  
大院工<sup>1</sup>・神戸大環境保全推進セ<sup>2</sup>) ○竹元 穂恵<sup>1</sup>・牧 秀志<sup>1,2</sup>・  
水畑 穰<sup>1</sup>

B2007\* (13:50～14:10) マンガン酸化物における二次元ナノ空  
間の創製と分析化学応用(山口大院創成科学<sup>1</sup>・広島大院工<sup>2</sup>)  
○中山 雅晴<sup>1</sup>・藤本 航太郎<sup>1</sup>・鈴木 かのん<sup>1</sup>・小早川 民江<sup>1</sup>・早  
川 慎二郎<sup>2</sup>

[PC設定時間]

座長 中谷清治

**【依頼講演】** B2008\* (14:20～14:50) ハイブリッドナノカーボ  
ン薄膜電極による電気化学分析(埼玉工大<sup>1</sup>・産総研<sup>2</sup>) ○丹羽  
修<sup>1</sup>・加藤 大<sup>2</sup>

B2009\* (14:50～15:10) 窒素 - 窒素結合を含むカーボン電極  
を用いる亜硝酸イオンの絶対定量法の検討(埼玉工大<sup>1</sup>・  
埼玉工大<sup>2</sup>) ○坂本 珠羅<sup>1</sup>・松浦 宏昭<sup>1,2</sup>

B2010\* (15:10～15:30) 酸化還元電位差を利用した貴金属ナノ  
粒子修飾ニッケル電極の作製(京大院工) 吉田 裕武・梅谷 悠  
暉・○小山 宗孝

## 【 C 会 場 】

### 第1日(5月27日)

座長 内藤豊裕

C1001 (9:45～10:00) 非変性条件の等電点電気泳動法による卵  
白リゾチームのインタクト分離溶出法の検討(愛媛大院理  
工<sup>1</sup>・愛媛大理<sup>2</sup>) ○鳥崎 洋次<sup>1</sup>・藤村 建之介<sup>2</sup>

C1002 (10:00～10:15) DNA損傷の高感度ESI-MS検出のため  
の検出形態に関する検討(岐阜薬大<sup>1</sup>・岐阜大院連合創薬<sup>2</sup>・産  
総研<sup>3</sup>・京大院薬<sup>4</sup>・愛知工大<sup>5</sup>) ○江坂 幸宏<sup>1,2</sup>・藤井 智輝<sup>1</sup>・  
久戸 賢治<sup>1</sup>・山本 拓平<sup>1</sup>・宇野 文二<sup>1,2</sup>・鳥村 政基<sup>3</sup>・石濱 泰<sup>4</sup>・  
村上 博哉<sup>5</sup>

C1003 (10:15～10:30) 拡張ナノ流体ELISAデバイスにおける  
単一・可算個分子分析の検証(東大院工) ○太田 諒一・馬渡  
和真・森川 響二郎・北森 武彦

[PC設定時間]

座長 江坂幸宏

C1004 (10:45～11:00) マイクロ電磁石を用いた局所的磁場印  
加によるマイクロフロー中における微粒子操作(名工大院  
工<sup>1</sup>・名工大<sup>2</sup>) ○飯國 良規<sup>1</sup>・廣瀬 さやか<sup>1</sup>・星野尾 拓也<sup>2</sup>・  
大谷 肇<sup>1</sup>

C1005 (11:00～11:15) Super-resolution fluorescence imaging  
of cellular interaction (KAUST) Karmen Abu-Zineh・Bader  
Al Alwan・Jasmeen Merzaban・○Satoshi HABUCHI

C1006 (11:15～11:30) 動電トラッピングを用いた試料濃度の  
電氣的制御法の開発(京大院工) ○内藤 豊裕・吉田 由季子・  
久保 拓也・大塚 浩二

座長 大平慎一

C1007 (13:30～13:45) キャピラリーイオンクロマトグラ  
フィーにおけるアミノメチルクラウンエーテル化学結合型有機  
ポリマー固定相の検討(岐阜大院工<sup>1</sup>・岐阜大工<sup>2</sup>) ○柘植 研  
一<sup>1</sup>・リム リーワ<sup>2</sup>・竹内 豊英<sup>2</sup>

C1008 (13:45～14:00) ハイピッチコイルをカラムに用いた静  
的平衡系向流クロマトグラフ装置のタンパク質分離効率(日大  
薬<sup>1</sup>・日大理工<sup>2</sup>・米国NIH<sup>3</sup>) ○四宮 一総<sup>1</sup>・戸倉 幸治<sup>2</sup>・中島  
悠風<sup>1</sup>・橋本 知美<sup>1</sup>・渡邊 留衣奈<sup>1</sup>・田中 悠介<sup>1</sup>・在間 一将<sup>1</sup>・  
張替 直輝<sup>1</sup>・伊東 洋一郎<sup>3</sup>

C1009 (14:00～14:15) GPC/FTIR法によるEVA/PE架橋発泡  
体におけるEVA同定手法の研究(2)(アシックススポ工)  
○星野 裕樹・原野 健一・西脇 剛史

C1010 (14:15～14:30) 水系分配クロマトグラフィー過程にお  
けるイオン濃縮現象—メカニズムの解明と汎用的イオン濃縮法  
開発への展開—(埼玉大院理工) ○渋谷 雅美・荻山 群・  
Akter Fouzia・齋藤 伸吾

[PC設定時間]

座長 リムリーワ

C1011 (14:45～15:00) 相分離混相流を利用したキャピラリー  
クロマトグラフィーの開発と実験条件の検討(同志社大院理  
工) 山田 健斗・中山 裕加里・○塚越 一彦

C1012 (15:00～15:15) 標準物質フリーなユニバーサル検出器  
とその応用(熊本大院先端) ○大平 慎一・金田 恭介・戸田 敬  
C1013 (15:15～15:30) On-line solid-phase extraction for se-  
quential determination of strontium and nickel by microwave  
plasma atomic emission spectrometry (Fukushima Universi-  
ty) ○Alejandro Ayala・Yoshitaka Takagai

C1014 (15:30～15:45) アクロレインガスのフローインジェク  
ション蛍光分析(愛知工大) ○手嶋 紀雄・鈴木 結貴・山口 尚  
彦・村上 博哉・酒井 忠雄

[PC設定時間]

座長 塚越一彦

C1015 (16:00～16:15) 連続流れ分析法の検量線の直線性の検  
証(海水栄養塩を例として)(産総研) ○チョン 千香子・三浦  
勉・日置 昭治

C1016 (16:15～16:30) 対数表示ダイアグラムを用いた酸塩基  
平衡の理解について;主に教育の観点から(阪府大) ○長岡  
勉・椎木 弘

C1017 (16:30～16:45) 多成分測定のためのコンピュータ制御  
モバイル化学分析法(Brawijaya Uni. Dept.Chem.<sup>1</sup>・高知大  
MGC JAPAN<sup>2</sup>・岡山大インキュベータ<sup>3</sup>・岡山大院自然<sup>4</sup>・山  
梨大生命環境<sup>5</sup>・山梨大院医工<sup>6</sup>) Hakim, Lukman<sup>1</sup>・樋口 慶  
郎<sup>2</sup>・○本水 昌二<sup>3</sup>・金田 隆<sup>4</sup>・鈴木 保任<sup>5</sup>・川久保 進<sup>6</sup>

C1018 (16:45～17:00) 有機ラジカルイオンの吸収スペクトル  
検出を目的としたフロー電気化学発光の基礎検討(九大院工)  
○石松 亮一・田代 修也・中野 幸二・今任 稔彦

## 第2日 (5月28日)

座長 牧秀志

C2001 (9:00~9:15) ハイドロフルオロエーテル希釈リチウム-グライム錯体系溶媒和イオン液体中のリチウムイオンのスペシエーションと局所構造 (新潟大<sup>1</sup>・山口大<sup>2</sup>・首都大<sup>3</sup>・工学院大<sup>4</sup>・産総研<sup>5</sup>・山形大<sup>6</sup>・横国大<sup>7</sup>) ○渡辺 日香里<sup>1</sup>・齊藤 蒼思<sup>1</sup>・上野 和英<sup>2</sup>・万代 俊彦<sup>3</sup>・関 志朗<sup>4</sup>・都築 誠二<sup>5</sup>・亀田 恭男<sup>6</sup>・獨古 薫<sup>7</sup>・渡邊 正義<sup>7</sup>・梅林 泰宏<sup>1</sup>

C2002 (9:15~9:30) リチウム-グライム錯体系溶媒和イオン液体の過剰塩組成における液体構造 (新潟大理<sup>1</sup>・新潟大院自然<sup>2</sup>・工学院大先進工<sup>3</sup>・山口大工<sup>4</sup>・横国大院工<sup>5</sup>・山形大理<sup>6</sup>) ○荒井 奈々<sup>1</sup>・渡辺 日香里<sup>2</sup>・関 志朗<sup>3</sup>・野崎 永莉香<sup>1</sup>・上野 和英<sup>4</sup>・獨古 薫<sup>5</sup>・渡邊 正義<sup>5</sup>・亀田 恭男<sup>6</sup>・梅林 泰宏<sup>2</sup>

C2003 (9:30~9:45) 次世代リチウム電池電解液を志向する濃厚リチウム塩溶液中のリチウムイオン局所構造および液体構造 (新潟大理<sup>1</sup>・新潟大院自然<sup>2</sup>・山口大工<sup>3</sup>・工学院大先進工<sup>4</sup>・山形大理<sup>5</sup>・横国大院工<sup>6</sup>) ○野崎 永莉香<sup>1</sup>・渡辺 日香里<sup>2</sup>・上野 和英<sup>3</sup>・藤井 健太<sup>3</sup>・荒井 奈々<sup>1</sup>・関 志朗<sup>4</sup>・獨古 薫<sup>6</sup>・渡邊 正義<sup>6</sup>・亀田 恭男<sup>5</sup>・梅林 泰宏<sup>2</sup>

C2004 (9:45~10:00) 高速度鋼の蛍光X線分析におけるファンダメンタル・パラメーター法の高精度化 (東北大金研) ○中山 健一・我妻 和明

C2005 (10:00~10:15) 変形したアルミニウムにおける欠陥と相互作用する不純物の同定 (千葉大院工) ○藤浪 眞紀・千田 智紀・田中 智士・Chiari, Luca

[PC設定時間]

座長 矢嶋 撰子

C2006 (10:30~10:45) 逆相系前処理用吸着剤の開発に関する研究 (愛知工大) ○村上 博哉・青柳 拓哉・三木 雄太・井上 嘉則・手嶋 紀雄

C2007 (10:45~11:00) 神経伝達物質を選択的に検出するための新規蛍光分析試薬の開発 (産総研) ○鈴木 祥夫・田中 睦生

## 【D会場】

### 第1日 (5月27日)

座長 近藤 倫生

[依頼講演] D1001\* (13:30~13:50) 環境DNA分析による大型水棲生物検出のこれまで (龍谷大理工) ○山中 裕樹

座長 山中 裕樹

[依頼講演] D1002\* (13:50~14:10) 環境中のDNAを用いた絶滅危惧種の生息地探索 (神戸大院人間発達) ○源 利文

座長 源利文

[依頼講演] D1003\* (14:10~14:30) 環境DNAの定量による魚群分布の推定 (神戸大院人間発達) ○山本 哲史

座長 山本 哲史

[依頼講演] D1004\* (14:30~14:50) 環境DNA手法に基づくアユ個体群におけるミトコンドリアDNAハプロタイプ多様性の評価 (龍谷大院理工<sup>1</sup>・龍谷大理工<sup>2</sup>・千葉中央博<sup>3</sup>・京大生体研<sup>4</sup>・JSTさきがけ<sup>5</sup>・琉球大研究推進機構<sup>6</sup>・神戸大院人間発達<sup>7</sup>) ○辻 冨月<sup>1</sup>・山中 裕樹<sup>2</sup>・宮 正樹<sup>3</sup>・潮 雅之<sup>4,5</sup>・佐藤 行人<sup>6</sup>・源 利文<sup>7</sup>

座長 辻 冨月

[依頼講演] D1005\* (14:50~15:10) 環境DNA技術を利用した広域長期生物多様性観測の実現に向けて：今後の展望と解決すべき課題 (龍谷大理工) ○近藤 倫生

[PC設定時間]

座長 藤田 雅弘

[依頼講演] D1006\* (15:25~15:45) *De novo* RNA-seq：微生物群集の挙動から環境中の反応をあぶり出す (産総研) ○佐藤 由也

座長 佐藤 由也

D1007\* (15:45~16:05) 犯罪鑑識への応用を目指した土壤中植物DNAの網羅的解析 (科警研) ○宮口 一

座長 宮口 一

[依頼講演] D1008\* (16:05~16:25) 環境・バイオ診断のための簡便核酸検出センサデバイス (産総研環境管理) ○青木 寛

座長 青木 寛

[依頼講演] D1009\* (16:25~16:45) 電位計測型DNAバイオセンサー (東京医科歯科大生材研) ○合田 達郎

座長 合田 達郎

[依頼講演] D1010\* (16:45~17:05) DNA担持ナノ粒子の物性とそれを活かした検出機能 (理研) ○藤田 雅弘・前田 瑞夫

### 第2日 (5月28日)

座長 山本 佐知雄

[依頼講演] D2001\* (9:00~9:30) 温和な条件でのタンパク精製を可能にする温度応答性固相抽出カラムの開発 (慶大薬) ○蛭田 勇樹・大久保 廣平・大阿久 絢加・金澤 秀子

D2002\* (9:30~9:50) 温度応答性アフィニティークロマトグラフィーを用いた抗体医薬品の温和な精製法の開発 (慶大院薬) ○池田 幸司・秋丸 倫子・三熊 敏靖・蛭田 勇樹・長瀬 健一・金澤 秀子

[PC設定時間]

座長 蛭田 勇樹

D2003\* (10:00~10:20) 希土類蛍光標識を用いる時間分解DNAマイクロアレイの開発 (東京工科大工<sup>1</sup>・早大理工<sup>2</sup>) ○松本 和子<sup>1</sup>・井出 恵介<sup>2</sup>・橋野 仁一<sup>2</sup>

[依頼講演] D2004\* (10:20~10:50) オルガノイド培養技術による難治性がんの*in vitro*モデルの構築と創薬研究への応用 (慶大薬) ○齋藤 義正・中岡 哉彰・村松 俊英・木村 真規・齋藤 英胤

[依頼講演] D2005\* (10:50~11:20) RNA構造を識別する蛍光性ペプチド核酸プローブの開発 (東北大院理) ○佐藤 雄介

[依頼講演] D2006\* (13:30~14:00) 糖タンパク質糖鎖の高感度かつ網羅的な解析技術の開発 (近畿大薬) ○山本 佐知雄・木下 充弘・鈴木 茂生

[依頼講演] D2007\* (14:00~14:30) リン酸化プロテオーム解析技術を用いたキノームプロファイリング (京大院薬) ○杉山 直幸・石濱 泰

[PC設定時間]

座長 山本 佐知雄

D2008\* (14:40~15:00) デジタル化ナノチャンネルを用いた細胞死に関わるタンパク質の1分子検出 (阪府大院工<sup>1</sup>・阪府大院理<sup>2</sup>) ○藤本 学都<sup>1,2</sup>・呉 倩<sup>1,2</sup>・許 岩<sup>1</sup>

D2009\* (15:00～15:20) ピペットチップ型自動イムノセンシングシステムによるバイオマーカータンパク質の蛍光検出(神戸大院工<sup>1</sup>・システム・インスツルメンツ<sup>2</sup>) ○高野 恵里<sup>1</sup>・志村 宣明<sup>2</sup>・秋場 猛<sup>2</sup>・竹内 俊文<sup>1</sup>

D2010\* (15:20～15:40) 高配列相同性タンパク質識別のための分子インプリント空間デザイン(神戸大院工) ○香門 悠里・竹内 俊文

## 【 E 会 場 】

### 第1日 (5月27日)

座長 岡本行広

【依頼講演】 E1001\* (10:05～10:35) 分離分析における特異的相互作用(京大院工) 久保 拓也・内藤 豊裕・○大塚 浩二

【依頼講演】 E1002\* (10:35～11:05) DNA複合高分子を用いたアフィニティー分離システムによる遺伝子分析(理研) ○宝田 徹

E1003\* (11:05～11:25) 非水系電気泳動法による非水溶性合成高分子分離(名工大院工) ○北川 慎也・深井 菜緒・大谷 肇

座長 宝田 徹

【依頼講演】 E1004\* (13:30～14:00) プラズモニックチップを用いた高感度バイオセンシングと細胞イメージング(関学大) ○田和 圭子

【依頼講演】 E1005\* (14:00～14:30) ラマンタグによる小分子検出: マイクロスコーピーとクロマトグラフィーへの応用(阪大院工) ○藤田 克昌

E1006\* (14:30～14:50) レーザー誘起単一ピコリットル微粒子による微量物質抽出の顕微分光計測(北大院理<sup>1</sup>・北大院総化<sup>2</sup>) ○三浦 篤志<sup>1,2</sup>・野島 明瑞美<sup>2</sup>・野原 陸<sup>2</sup>・喜多村 昇<sup>1,2</sup>

【PC設定時間】

座長 三浦 篤志

【依頼講演】 E1007\* (15:00～15:30) ナノポア集積デバイスによる分離・検出法の創成にむけて(阪大産研) ○大城 敬人

【依頼講演】 E1008\* (15:30～16:00) 高分子フィルムに吸着する分子の in situ ATR-IR 分析(阪電通大工) ○森田 成昭

E1009\* (16:00～16:20) 水溶液中からのイオン液体生成を利用する色素の共抽出(甲南大理工) ○茶山 健二・大井 信彦・川村 隼・外山 真理・岩月 聡史

### 第2日 (5月28日)

座長 大城敬人

【依頼講演】 E2001\* (10:00～10:30) リビドナノテクノロジーによる分離法の創成(阪大院基礎工) ○岡本 行広

【依頼講演】 E2002\* (10:30～11:00) アフィニティーを利用した高機能分離分析システムの開発と応用(武庫川女大薬) ○萩中 淳

E2003\* (11:00～11:20) カートリッジ接続型デジタル電気泳動分析デバイスの開発と多次元電気泳動分析への応用(阪府大院工) 青木 優太・○末吉 健志・遠藤 達郎・久本 秀明

座長 末吉健志

【依頼講演】 E2004\* (13:30～14:00) 多次元HPLCによるキラールアミノ酸分析と医療応用(九大院薬) ○浜瀬 健司

E2005\* (14:00～14:20) 液化メタン移動相を用いる超低温HPLCにおける低分子化合物の分離(名工大院工) ○本野 智大・北川 慎也・大谷 肇

E2006\* (14:20～14:40) 感度・分離能を両立する新規オンライン試料濃縮法の開発(理研QBiC) ○川井 隆之・太田 亘俊・田中 陽

## 【 F 会 場 】

### 第1日 (5月27日)

座長 千葉光一

【依頼講演】 F1001\* (9:30～10:00) バイオ・メディカル・食品分野における検査・分析結果の国際整合化を支える取り組み(産総研) ○高津 章子

【依頼講演】 F1002\* (10:00～10:30) 医薬品の品質を保証するためのpH・導電率の現状と課題(堀場アドバンステクノ) ○桑本 恵子

【PC設定時間】

座長 高津章子

【依頼講演】 F1003\* (10:40～11:10) 食品の安全・品質保証のためのGC/MSまたはGC/MS/MSを用いた分析—食品中残留農薬・ダイオキシン分析など—(島津) ○中川 勝博

F1004\* (11:10～11:30) 液体中金属濃度管理のための高感度蛍光X線分析(堀場製作所) ○青山 朋樹・内原 博

座長 辻幸一

【依頼講演】 F1005\* (13:30～14:00) 食用油中の新規微量成分分析法の開発と国際標準化(花王解析科学研<sup>1</sup>・花王ヘルスケア食品研<sup>2</sup>) ○城 宏樹<sup>1</sup>・安永 浩一<sup>2</sup>・清水 将夫<sup>2</sup>

【依頼講演】 F1006\* (14:00～14:30) テラヘルツイメージングによる新規非破壊検査と品質管理(東工大未来研) ○河野 行雄

【PC設定時間】

座長 河野行雄

F1007\* (14:45～15:05) X線イメージング法における定量分析へのアプローチ(京都市産技研<sup>1</sup>・阪市大院工<sup>2</sup>) ○山梨 眞生<sup>1</sup>・辻 幸一<sup>2</sup>

F1008\* (15:05～15:25) 食品メーカーにおける水の品質保証(サントリービジネスエキスパート) ○村上 由佳・中田 滝子

F1009\* (15:25～15:45) DIP/MSにおける低沸点化合物測定のための試料作製法とフタル酸エステル類の迅速分析(神戸工試<sup>1</sup>・産総研<sup>2</sup>) 三島 有二<sup>1</sup>・○津越 敬寿<sup>2</sup>

### 第2日 (5月28日)

座長 藤本京子

【依頼講演】 F2001\* (9:00～9:30) 分析化学の観点からの鉄鋼製造プロセスの品質管理(新日鉄住金先端研) ○相本 道宏

F2002\* (9:30～9:50) 金属材料の品質保証におけるグロー放電質量分析の役割(アメテック) ○高橋 隆子

座長 相本道宏

F2003\* (9:50～10:10) 蛍光X線分析による最近の応用例—多元素同時型蛍光X線分析装置を用いた品質管理—(リガク) ○松田 渉・河原 直樹・森山 孝男

F2004\* (10:10～10:30) 標準物質による分析法の信頼性評価—蛍光X線分析の事例を中心に(福岡大理<sup>1</sup>・明大理工<sup>2</sup>) ○市川 慎太郎<sup>1</sup>・中村 利廣<sup>2</sup>

【PC設定時間】

座長 癸生川陽子

F2005\* (10:45 ~ 11:05) 全反射蛍光X線分析法におけるレジスト塗布膜を用いた試料準備法 (阪市大院工<sup>1</sup>・日本電子<sup>2</sup>) ○辻幸一<sup>1</sup>・蓬田直也<sup>1</sup>・小入羽祐治<sup>2</sup>

F2006\* (11:05 ~ 11:25) 軟X線照射による絶縁性有機膜の簡便な全電子収量測定法の開発 (兵庫県大院工) ○村松康司・大内貴仁

座長 村松康司

**【依頼講演】** F2007\* (13:30 ~ 14:00) NEXAFSによる光配向高分子フィルムの3次元配向解析 (兵庫県大院工) ○川月喜弘

**【依頼講演】** F2008\* (14:00 ~ 14:30) XANESで探る宇宙の複雑有機物 (横国大院工) ○癸生川陽子

座長 高原晃里

**【依頼講演】** F2009\* (14:30 ~ 15:00) 軟X線分光および第一原理計算による化学状態解析 (旭化成基盤研) ○菊間淳・風間美里・夏目穰

**【依頼講演】** F2010\* (15:00 ~ 15:30) 軟X線による機能性有機薄膜の構造解析 (住化分析セ<sup>1</sup>・兵庫県大<sup>2</sup>・山形大<sup>3</sup>) ○末広省吾<sup>1</sup>・高橋永次<sup>1</sup>・東遥介<sup>1</sup>・三下泰子<sup>1</sup>・村松康司<sup>2</sup>・硯里善幸<sup>3</sup>

## 【 G 会 場 】

### 第1日 (5月27日)

座長 沖野晃俊

G1001 (9:50 ~ 10:05) 温度応答性高分子のプラズモン光捕捉を利用した微量有機分子の高感度顕微分光分析 (阪市大院理<sup>1</sup>・北大院総化<sup>2</sup>・北大院理<sup>3</sup>) ○東海林竜也<sup>1</sup>・須郷大毅<sup>1</sup>・脇坂優美<sup>2</sup>・村越敬<sup>2,3</sup>・坪井泰之<sup>1</sup>

G1002 (10:05 ~ 10:20) 光ピンセット・顕微ラマン分光法を用いたポリ(N-イソプロピルアクリルアミド)相分離液滴の分析: 高分子濃度の立体規則性依存性 (阪市大院理<sup>1</sup>・阪市大院工<sup>2</sup>) ○後健太<sup>1</sup>・東海林竜也<sup>1</sup>・松本充央<sup>1</sup>・麻生隆彬<sup>1</sup>・西山聖<sup>2</sup>・堀邊英夫<sup>2</sup>・坪井泰之<sup>1</sup>

G1003 (10:20 ~ 10:35) ビーム偏向法と蛍光法を利用した水草のリアルタイム計測 (福岡工大<sup>1</sup>・国立環境研<sup>2</sup>) 黄洛玮<sup>1</sup>・井上智美<sup>2</sup>・○呉行正<sup>1</sup>

[PC設定時間]

座長 牧秀志

G1004 (10:45 ~ 11:00) 表面付着物マッピング分析のためのレーザー/プラズマ脱離イオン化質量分析法における脱離特性の調査 (東工大未来研) ○相田真里・河野聡史・掛川賢・宮原秀一・沖野晃俊

G1005 (11:00 ~ 11:15) CE-ESI-MSを用いた溶存Al 1量体・13量体の分離による検出・同定 (東京海洋大院) ○星野陽子・中本大輔・田中美穂

G1006 (11:15 ~ 11:30) Py-tagによるタンパク質群の高精度同時解析 (福井県大生物資源<sup>1</sup>・福井大医<sup>2</sup>・太陽日酸<sup>3</sup>) ○平修<sup>1</sup>・田中幸枝<sup>2</sup>・池田明夏里<sup>3</sup>・丸山千登勢<sup>1</sup>・片野肇<sup>1</sup>

座長 河合潤

G1007 (13:30 ~ 13:45) 粉末X線回折/Rietveld解析法による低結晶性結晶・高配向性結晶の定量—銅・亜鉛触媒中の酸化銅と酸化亜鉛・グラファイトの定量— (明大理工<sup>1</sup>・リガク<sup>2</sup>・明大研究知財<sup>3</sup>) ○中村利廣<sup>1,2</sup>・根岸勇貴<sup>1</sup>・萩原健太<sup>3</sup>・大淵敦司<sup>2</sup>・紺谷貴之<sup>2</sup>・小池裕也<sup>1</sup>

G1008 (13:45 ~ 14:00) 通常X線源を用いる分散型XAFS測定装置の開発と価数の動的追跡 (広島大院工) ○大村健人・柳川博伸・Munoz-Noval Alvaro・田村文香・早川慎二郎

G1009 (14:00 ~ 14:15) Determination of Chelation Mechanism and Structure in Solution of Zn-Acetate and other Carboxylic Acid Chelates by XAFS and Raman Spectroscopies (Hiroshima University<sup>1</sup>・Kyoto University<sup>2</sup>) ○Munoz Noval, Alvaro<sup>1</sup>・Kuruma, Takuya<sup>1</sup>・Fukami, Kazuhiro<sup>2</sup>・Nishio, Daisuke<sup>1</sup>・Hayakawa, Shinjiro<sup>1</sup>

G1010 (14:15 ~ 14:30) 光触媒効果に起因して放出される光触媒塗料由来微粒子の粒径評価および元素分析 (東理大工) ○釘宮颯希・国村伸祐

[PC設定時間]

座長 早川慎二郎

G1011 (14:40 ~ 14:55) 3次元配置偏光光学系における蛍光X線強度の理論計算 (京大院工) ○田中亮平・杉野智裕・河合潤

G1012 (14:55 ~ 15:10) 偏光光学系蛍光X線分析装置を用いたコマツナの微量元素定量 (東京電機大工<sup>1</sup>・産総研<sup>2</sup>) ○井上昂哉<sup>1</sup>・井戸航洋<sup>1</sup>・稲垣和三<sup>2</sup>・保倉明子<sup>1</sup>

G1013 (15:10 ~ 15:25) 銭貨の分析—公鑄銭と模鑄銭の比較— (神奈川大理) 小沼未帆・○櫻井正美・青柳佑希・西本右子

[PC設定時間]

座長 村松康司

G1014 (15:35 ~ 15:50) ポータブル全反射蛍光X線分析装置を用いたナノグラムレベルのアルミニウム分析 (東理大工) ○寺田脩一郎・国村伸祐

G1015 (15:50 ~ 16:05) 蛍光X線分析におけるレーザー加熱を用いた少量ガラスビード法 (リガク<sup>1</sup>・産総研<sup>2</sup>) ○高原晃里<sup>1</sup>・大淵敦司<sup>1</sup>・森山孝男<sup>1</sup>・村井健介<sup>2</sup>

G1016 (16:05 ~ 16:20) X線分析・放射線分析を利用した品質管理 (テクノエックス) ○大森崇史・タンタラカーン クリアンカモル・西萩一夫・谷口一雄

### 第2日 (5月28日)

座長 石垣美歌

G2001 (9:00 ~ 9:15) 減衰全反射遠紫外分光法によるイミダズリウム系イオン液体とその水溶液の電子状態分析 (近畿大理工) 森田千尋・○森澤勇介

G2002 (9:15 ~ 9:30) 遠紫外分光法によるアルミナ表面上界面水分子の第一電子遷移の研究 (関学大理工) ○後藤剛喜・岸部航大・衣笠智也・尾崎幸洋

座長 森澤勇介

G2003 (9:30 ~ 9:45) Study a molecular level during an embryonic development of medaka fish eggs by Near-infrared Spectroscopy and Imaging. (Kwansei Gakuin University) ○PUANGCHIT, Paralee

【 H 会 場 】

第1日 (5月27日)

座長 高野祥太郎

G2004 (9:45 ~ 10:00) 近赤外結像型2次元フーリエ分光システムを用いたメダカ受精卵の非染色血流イメージング (関学大理工<sup>1</sup>・アオイ電子<sup>2</sup>・香川大工<sup>3</sup>) ○石垣 美歌<sup>1</sup>・Paralee Puangchit<sup>1</sup>・安井 唯<sup>1</sup>・石田 茜<sup>2</sup>・林 宏樹<sup>2</sup>・中山 芳彦<sup>2</sup>・谷口 秀哉<sup>2</sup>・石丸 伊知郎<sup>3</sup>・尾崎 幸洋<sup>1</sup>

G2005 (10:00 ~ 10:15) 部分フッ素化ミリスチン酸単分子膜の構造が表面撥水性に与える影響 (京大化研<sup>1</sup>・群馬大院理工<sup>2</sup>・産総研創薬基盤<sup>3</sup>・神戸大院理<sup>4</sup>) ○黄瀬 隆磨<sup>1</sup>・塩谷 暢貴<sup>1</sup>・下赤 卓史<sup>1</sup>・森田 康平<sup>2</sup>・園山 正史<sup>2</sup>・網井 秀樹<sup>2</sup>・高木 俊之<sup>3</sup>・金森 敏幸<sup>3</sup>・枝 和男<sup>4</sup>・長谷川 健<sup>1</sup>

[PC設定時間]

座長 朱彦北

G2006 (10:30 ~ 10:45) キレート樹脂による微量元素の分離分析 (京都市産技研) ○南 秀明・門野 純一郎

G2007 (10:45 ~ 11:00) 黒鉛炉原子吸光法における吸光度プロファイルの減衰過程-1: 標準消失過程- (徳島大院理工) ○今井 昭二・山本 祐平

G2008 (11:00 ~ 11:15) 高分解能連続光源分光器を用いたフレイム原子吸光分析におけるガス温度測定と原子化条件の最適化 (東北大金研) 戸谷 優介・板垣 俊子・○我妻 和明

G2009 (11:15 ~ 11:30) パルス動作6.78-MHzグロー放電プラズマの励起特性 (東北大金研) ○張 心月・我妻 和明

座長 我妻和明

G2010 (13:30 ~ 13:45) [講演中止]

G2011 (13:45 ~ 14:00) 水素燃料中硫黄不純物分析のためのプラズマ分光分析法の開発-高感度化に向けた試料濃縮法の検討- (関学大理工<sup>1</sup>・ヤナコ計測<sup>2</sup>・東工大未来研<sup>3</sup>) ○岩井 貴弘<sup>1</sup>・松田 敬子<sup>2</sup>・宮原 秀一<sup>3</sup>・沖野 晃俊<sup>3</sup>・千葉 光一<sup>1</sup>

G2012 (14:00 ~ 14:15) 2液同時噴霧型グリッドネブライザーを用いたオンライン標準添加/ICP-OES法の開発 (東京電機大工<sup>1</sup>・東薬大院<sup>2</sup>・産総研<sup>3</sup>) ○井戸 航洋<sup>1</sup>・松下 莉那<sup>2</sup>・藤井 紳一郎<sup>3</sup>・宮下 振一<sup>3</sup>・朱彦北<sup>3</sup>・稲垣 和三<sup>3</sup>・保倉 明子<sup>1</sup>

G2013T (14:15 ~ 14:45) グロー放電質量分析計 Astrum (アストラム) のご紹介-導電性および絶縁性材料の評価から, 金属中微量ガス成分の定量, 深さ方向分析まで- (アメテック) ○高橋 隆子

[PC設定時間]

座長 宗林由樹

G2014 (15:00 ~ 15:15) 固相抽出/ICP-MSによる尿中Cdの定量分析 (東大院新領域<sup>1</sup>・環境調査研修所<sup>2</sup>・東洋大生命科学<sup>3</sup>) ○水野 佑紀<sup>1</sup>・藤森 英治<sup>2</sup>・吉永 淳<sup>3</sup>

G2015 (15:15 ~ 15:30) ICP質量分析法による高純度タングステン中の微量不純物の定量 ~非分光学的感度抑制効果の改善に関するプラズマ条件の最適化~ (三菱マテリアル) ○Shabani Mohamm d・林部 豊・松浦 直也・梯 伸一郎・山田 正

G2016 (15:30 ~ 15:45) ICP-MS/MSを用いたTiの2価イオン干渉除去機構の考察 (アジレント<sup>1</sup>・アジレントインターナショナル<sup>2</sup>) ○溝淵 勝男<sup>1</sup>・山田 憲幸<sup>2</sup>・行成 雅一<sup>1</sup>

G2017 (15:45 ~ 16:00) LA-ID-ICP-MSによる固体試料中微量元素の定量分析法開発 (産総研物質計測標準) ○朱彦北

H1001 (13:30 ~ 13:45) ろ紙法によるDNA抽出とリアルタイムPCRを用いる環境水の藻類モニタリング (京工織大院工芸科学<sup>1</sup>・京工織大環境科学セ<sup>2</sup>・琵琶湖環科研セ<sup>3</sup>) ○藤井 颯<sup>1</sup>・水口 裕尊<sup>1</sup>・笹井 啓佑<sup>1</sup>・布施 泰朗<sup>1,2</sup>・石川 可奈子<sup>3</sup>・岡本 高弘<sup>3</sup>・早川 和秀<sup>3</sup>・柄谷 肇<sup>1</sup>・山田 悦<sup>1,2</sup>

H1002 (13:45 ~ 14:00) 電気泳動などを用いる藻類由来及び琵琶湖水中タンパク質様蛍光物質の特性解析 (京工織大院工芸科学<sup>1</sup>・京工織大環境科学セ<sup>2</sup>・琵琶湖環科研セ<sup>3</sup>) ○水口 裕尊<sup>1</sup>・笹井 啓佑<sup>1</sup>・藤井 颯<sup>1</sup>・比嘉 良太<sup>1</sup>・藤井 しおり<sup>1</sup>・布施 泰朗<sup>1,2</sup>・岡本 高弘<sup>3</sup>・早川 和秀<sup>3</sup>・柄谷 肇<sup>1</sup>・山田 悦<sup>1,2</sup>

H1003 (14:00 ~ 14:15) 若狭湾における夏季のシリカ欠損 (東京海洋大院<sup>1</sup>・理研<sup>2</sup>・福井水産試験場<sup>3</sup>) ○田中 美穂<sup>1</sup>・岡部 駿也<sup>1</sup>・高梨 翠<sup>1</sup>・高橋 和也<sup>2</sup>・鮎川 航太<sup>3</sup>・山下 慎也<sup>3</sup>・下中 邦俊<sup>3</sup>・宮田 克士<sup>3</sup>

[PC設定時間]

座長 中口譲

H1004 (14:25 ~ 14:40) 海水中溶存態および置換活性粒子態生物活性微量元素 (Al, Mn, Fe, Co, Ni, Cu, Cd, Pb) の北太平洋西経160度における南北分布 (京大化研) ○鄭 臨潔・南 知晴・高野 祥太郎・宗林 由樹

H1005 (14:40 ~ 14:55) 海水、エアロゾル、沈降粒子試料中ニッケル、銅、亜鉛同位体比分析法の開発 (京大化研<sup>1</sup>・関学大理<sup>2</sup>・東大理<sup>3</sup>・地球研<sup>4</sup>・Academia Sinica<sup>5</sup>・JAMSTEC<sup>6</sup>) ○高野 祥太郎<sup>1</sup>・谷水 雅治<sup>2</sup>・平田 岳史<sup>3</sup>・申 基澈<sup>4</sup>・Ho, Tung-Yuan<sup>5</sup>・Liao, Wen-Hsuan<sup>5</sup>・鈴木 勝彦<sup>6</sup>・深海 雄介<sup>6</sup>

H1006 (14:55 ~ 15:10) 堆積物中モリブデン, タングステン安定同位体比分析法の開発および日本海中層海底における酸化還元史の推定 (京大化研<sup>1</sup>・東大院理<sup>2</sup>・地球研<sup>3</sup>) ○辻阪 誠<sup>1</sup>・高野 祥太郎<sup>1</sup>・平田 岳史<sup>2</sup>・申 基澈<sup>3</sup>・宗林 由樹<sup>1</sup>

[PC設定時間]

座長 丸尾雅啓

H1007 (15:20 ~ 15:35) ESI-MSによる内標準化合物を用いたFe (II) とFe (III) の同時定量法の開発 (東京海洋大院) ○岡部 駿也・田中 美穂

H1008 (15:35 ~ 15:50) たんぽぽ計画により宇宙曝露した有機物の分析 (第1報) (横国大院理工工<sup>1</sup>・福岡工大工<sup>2</sup>・神戸大<sup>3</sup>・長岡技科大<sup>4</sup>・JAXA宇宙研<sup>5</sup>・東薬大生命<sup>6</sup>) ○小林 憲正<sup>1</sup>・三田 肇<sup>2</sup>・癸生川 陽子<sup>1</sup>・中川 和道<sup>3</sup>・青木 涼平<sup>1</sup>・原田 拓<sup>1</sup>・三澤 柁介<sup>1</sup>・内村 絵梨花<sup>1</sup>・佐藤 智仁<sup>1</sup>・内藤 敬介<sup>1</sup>・峰松 沙綾<sup>2</sup>・今井 栄一<sup>4</sup>・矢野 創<sup>5</sup>・橋本 博文<sup>5</sup>・横堀 伸一<sup>6</sup>・山岸 明彦<sup>6</sup>

H1009 (15:50 ~ 16:05) 微小地球外物質の多角的な分析法の開発とその応用 (海洋研究開発機構<sup>1</sup>・マリンワークジャパン<sup>2</sup>・極地研究所<sup>3</sup>) ○伊藤 元雄<sup>1</sup>・富岡 尚敬<sup>1</sup>・兒玉 優<sup>2</sup>・今柴 直也<sup>3</sup>

## 第2日 (5月28日)

座長 長谷川浩

H2001 (9:00~9:15) 電位差滴定法による腐植様物質と金属イオンの安定度定数の決定 (金沢大理工<sup>1</sup>・金沢大院自然<sup>2</sup>・Southern University<sup>3</sup>・福島大環放研<sup>4</sup>・DENKA中央研<sup>5</sup>)  
○澤井 光<sup>1</sup>・齋藤 誠<sup>2</sup>・Zinnat Ara Begum<sup>3</sup>・Ismail Md. Mofizur Rahman<sup>4</sup>・牧 輝弥<sup>1</sup>・一條 利治<sup>5</sup>・長谷川 浩<sup>1</sup>

H2002 (9:15~9:30) ケンサキイカに含まれる有害元素の定量とその比較 (東京海洋大院<sup>1</sup>・環境科学技術研<sup>2</sup>・理研<sup>3</sup>) ○山口 義尊<sup>1</sup>・原田 葉乃<sup>1</sup>・土屋 光太郎<sup>1</sup>・高久 雄一<sup>2</sup>・高橋 和也<sup>3</sup>・田中 美穂<sup>1</sup>

H2003 (9:30~9:45) 酸化マンガンを被覆した製鋼スラグを用いた六価クロムの固定 (東京海洋大院<sup>1</sup>・新日鐵住金先端研<sup>2</sup>)  
○高梨 翠<sup>1</sup>・平田 純一<sup>2</sup>・相本 道宏<sup>2</sup>・田中 美穂<sup>1</sup>

H2004 (9:45~10:00) 日本・韓国・台湾の大気環境が大気中暴露銅板の腐食に与える影響 (兵庫教大自然) ○尾関 徹・藤原 頌・羽深 健治

[PC設定時間]

座長 尾関徹

H2005 (10:15~10:30) 都市ごみ焼却飛灰中の水溶性及び難溶性セシウムの存在形態推定—X線分析手法と放射能測定を組み合わせた災害廃棄物の分析— (リガク<sup>1</sup>・明大理工<sup>2</sup>・明大院理工<sup>3</sup>) ○大淵 敦司<sup>1,2</sup>・藤井 健悟<sup>3</sup>・小池 裕也<sup>2</sup>・藤縄 剛<sup>1</sup>・中村 利廣<sup>1,2</sup>

H2006 (10:30~10:45) 山口県山陽小野田市の大気エアロゾルの特性化 (山陽小野田市立山口東理大工) ○浅野 比・白石 幸英

H2007 (10:45~11:00) 反応熱分解GCによる食用ドングリの殻における抗酸化物質の存在の実証とその構造解析 (中部大応生<sup>1</sup>・Kyungnam University<sup>2</sup>) ○石田 康行<sup>1</sup>・片桐 里帆<sup>1</sup>・原田 華織<sup>1</sup>・亀谷 将之<sup>1</sup>・Kim Gyo-Nam<sup>2</sup>・Lee Seung-Cheol<sup>2</sup>

H2008 (11:00~11:15) 定量<sup>27</sup>Al NMRによるアルミニウムイオンの加水分解反応に与えるアニオン種の影響の解析 (神戸大環境保全推進セ<sup>1</sup>・神戸大院工<sup>2</sup>・神戸大工<sup>3</sup>) ○牧 秀志<sup>1,2</sup>・馬場 啓太<sup>3</sup>・水畑 穰<sup>2</sup>

## 【 I 会場 】

### 第1日 (5月27日)

座長 三宅司郎

[趣旨説明] I1001\* (9:45~10:00) (京大院農) ○加納 健司

座長 明石貴裕

[依頼講演] I1002\* (10:00~10:30) 高付加価値清酒生産のための低コスト工程分析手法の開発 (京都市産技研) ○山本 佳宏・高阪 千尋・清野 珠美・和田 潤・廣岡 青央

座長 山本佳宏

[依頼講演] I1003\* (10:30~11:00) 日本酒のメタボローム解析による成分と品質との相関解析 (酒類総研) ○高橋 圭

座長 高橋圭

[依頼講演] I1004\* (11:00~11:30) GC/MSを用いた清酒成分プロファイリングの酒質特性解析への応用 (白鶴酒造) ○明石 貴裕

座長 秦洋二

[依頼講演] I1005\* (13:30~14:00) 味覚センサーとスニッフィングGC-MSを用いた清酒のマッピング (大関総研) ○坊垣 隆之

座長 坊垣隆之

[依頼講演] I1006\* (14:00~14:30) 生酛造りで育った酵母の特徴 (菊正宗酒造総研) ○山田 翼

座長 山田翼

[依頼講演] I1007\* (14:30~15:00) 伏見のお酒「これまで」と「これから」(月桂冠総研) ○秦 洋二

## 第2日 (5月28日)

座長 三宅司郎

[依頼講演] I2001\* (10:00~10:30) 日本酒および焼酎の酸度測定用センサの開発 (東葉大) ○小谷 明・袴田 秀樹

座長 小谷明

[依頼講演] I2002\* (10:30~11:00) 微量元素と軽元素同位体比による日本酒の化学的特性化 (東理大理<sup>1</sup>・環境科学技術研<sup>2</sup>) ○中井 泉<sup>1</sup>・笹本 なみ<sup>1</sup>・阿部 善也<sup>1</sup>・高久 雄一<sup>2</sup>

座長 中井泉

[依頼講演] I2003\* (11:00~11:30) 励起・蛍光マトリクスを用いた日本酒の自家蛍光成分の解析 (堀場テクノサービス) ○北川 雄一

座長 喜多純一

[依頼講演] I2004\* (13:30~14:00) 水蒸気蒸留装置及び重量法を組み合わせたアルコール分析法 (京都電子工業<sup>1</sup>・杜の蔵<sup>2</sup>・福岡県工技セ<sup>3</sup>・福岡県酒造組合<sup>4</sup>・九州酒造研究会<sup>5</sup>) ○松岡 武志<sup>1</sup>・村田 匠<sup>2,3</sup>・大場 孝宏<sup>3,5</sup>・勝木 慶一郎<sup>5</sup>・鈴木 正柯<sup>4,5</sup>

座長 松岡武志

[依頼講演] I2005\* (14:00~14:30) 複合臭を嗅覚と同様に検知させるにおいし識別装置 (島津製作所) ○喜多 純一

## 【 J 会場 】

### 第1日 (5月27日)

座長 山本雅博

[趣旨説明] J1001\* (9:30~10:00) なぜ実験データの解析は大事か? (京大院農<sup>1</sup>・京工織大院工芸<sup>2</sup>) ○加納 健司<sup>1</sup>・前田 耕治<sup>2</sup>

座長 前田耕治

[依頼講演] J1002\* (10:00~10:45) 実験データの有効数字を理解する (京大院農) ○北隅 優希

[依頼講演] J1003\* (10:50~11:35) 検出限界と定量下限、信頼性に関わる用語 (明星大院理工) ○上本 道久

座長 北隅優希

[依頼講演] J1004\* (13:00~13:45) 検定の考え方と実際 (京大院工) ○西 直哉

座長 西直哉

[依頼講演] J1005\* (13:50~14:35) 最小二乗法と検量線 (阪大院理) ○諏訪 雅頼

座長 諏訪雅頼

[依頼講演] J1006\* (14:40~15:25) 不確かさの概念と無機分析における見積もり例 (明星大院理工) ○上本 道久

座長 垣内隆

J1007\* (15:30～16:00) 環境試料の放射能測定とその問題点  
＝土壌や水圏底質中の放射能濃度の分析を例として＝(近畿大  
理工<sup>1</sup>・こうすい<sup>2</sup>・龍谷大理工<sup>3</sup>) ○山崎 秀夫<sup>1</sup>・柴田 隆史<sup>1</sup>・  
大久保 佳弘<sup>1</sup>・稲垣 直史<sup>2</sup>・桧尾 亮一<sup>3</sup>

## 第2日(5月28日)

座長 中野幸二

J2001 (9:00～9:15) 表面増強ラマン散乱用ナノ構造体の使い  
分けを測定現場と「代表長さ」から考える(兵庫県大高度  
研<sup>1</sup>・アーカイラス<sup>2</sup>・産総研健康工学<sup>3</sup>・ストロープ<sup>4</sup>・同志社  
大理工<sup>5</sup>) ○福岡 隆夫<sup>12</sup>・山口 明啓<sup>1</sup>・永井 賢一<sup>1</sup>・伊藤 民  
武<sup>3</sup>・今井 裕一<sup>4</sup>・森 康維<sup>5</sup>

J2002 (9:15～9:30) モトブシン欠損マウスを用いた社会行動  
変化と血清中アミノ酸濃度との関係に関する研究(高知大複合  
領域科学<sup>1</sup>・高知大教育<sup>2</sup>・群馬大院保健<sup>3</sup>) ○蒲生 啓司<sup>1</sup>・明石  
拓実<sup>2</sup>・西脇 芳典<sup>2</sup>・三井 真一<sup>3</sup>

J2003 (9:30～9:45) 光応答型グアニン四重鎖プローブの開発  
(奈良高専物質化) 松井 誉始・西本 徳子・○宇田 亮子

J2004 (9:45～10:00) ユビキチン化活性の検出に用いる人工ユ  
ビキチンリガーゼの設計法(姫路獨協大薬) ○宮本 和英・砂  
川 真弓・齋藤 一樹

[PC設定時間]

座長 宇田亮子

J2005 (10:15～10:30) 活性酸素種が誘導する細菌ルシフェ  
ラーゼ反応による環境毒性物質の発光可視化(京工織大院工芸  
科学) ○柄谷 肇・深尾 嘉樹・巴山 博之・伊原 裕・葛川 大  
毅・岩上 諒太郎

J2006 (10:30～10:45) マイクロペルオキシダーゼ11とその軸  
配位子改変体の化学合成と酵素機能評価(九大院工) ○中野  
幸二・平田 龍太郎・田邊 潤壺・石松 亮一・今任 稔彦

J2007 (10:45～11:00) がん診断のための電気化学的テロメ  
ラーゼアッセイ検出試薬の開発(九工大院工<sup>1</sup>・九工大  
RCBT<sup>2</sup>) 濱中 恒志<sup>1</sup>・梶間 篤人<sup>1</sup>・佐藤 しのぶ<sup>12</sup>・○竹中 繁  
織<sup>12</sup>

J2008 (11:00～11:15) 分子鑄型金ナノ粒子を用いた大腸菌  
O157の特異的検出(阪府大院工) ○木下 隆将・Nguyen  
Quang, Dung・椎木 弘・長岡 勉

座長 中西淳

J2009 (13:30～13:45) タンパク質センシングのための擬似糖  
鎖電子伝達性ペプチド修飾マイクロビーズの作製(前橋工科大  
工<sup>1</sup>・富山大院理<sup>2</sup>) ○菅原 一晴<sup>1</sup>・倉光 英樹<sup>2</sup>・門屋 利彦<sup>1</sup>

J2010 (13:45～14:00) ホロ/アポ変換二次元PAGE/金属検  
出PAGE/MALDI-TOF MSによる紅色非硫黄光合成細菌中の  
銅結合型タンパク質の同定(埼玉大院理工<sup>1</sup>・CNRS<sup>2</sup>) ○石川  
順子<sup>1</sup>・Anne Durand<sup>2</sup>・Soufian Ouchane<sup>2</sup>・渋川 雅美<sup>1</sup>・齋藤  
伸吾<sup>1</sup>

J2011 (14:00～14:15) 高感度イムノセンシング系の構築を指  
向した抗体結合タンパク質のポリマー化技術の開発(九工大院  
情報工<sup>1</sup>・九工大RCBT<sup>2</sup>) 宮尾 寛樹<sup>1</sup>・上村 侑太郎<sup>1</sup>・○末田  
慎二<sup>12</sup>

[PC設定時間]

座長 菅原一晴

J2012 (14:30～14:45) 導電性高分子をプラットフォームとし  
たバクテリアの観察(阪府大院工) ○富山 智大・田村 琢磨・  
椎木 弘・長岡 勉

J2013 (14:45～15:00) 表面の接着性に応じた細胞移動挙動を  
分析するための光応答基板の開発(物材機構<sup>1</sup>・神奈川大理<sup>2</sup>)  
○中西 淳<sup>1</sup>・山口 和夫<sup>2</sup>

J2014 (15:00～15:15) マコンブ配偶体の卵形成に伴う脂質組  
成の変化(阪府大院工) ○岩井 久典

J2015 (15:15～15:30) 単一生細胞分析へ向けたFLメスピベッ  
トの開発(東大院工) ○中尾 達郎・嘉副 裕・林 玲・森川 響  
二郎・馬渡 和真・北森 武彦

## 【 P 会 場 】

### 第1日(5月27日)

P1001S (14:00～15:30) 富士フィルムにおける分析・解析部門  
の役割(富士フィルム解析技術セ) ○森 淳一・中村 崇市郎・  
鈴木 真由美

P1002S (14:00～15:30) 帝人グループにおける分光学的手法を  
用いた解析技術紹介(帝人<sup>1</sup>・東大院物質理工<sup>2</sup>) ○百瀬 美  
穂<sup>1</sup>・伊勢本 潤<sup>1</sup>・安藤 慎治<sup>2</sup>

P1003S (14:00～15:30) 励起・蛍光マトリクスを用いた食品や  
環境水に含まれる複数蛍光成分の解析(堀場テクノサービ  
ス<sup>1</sup>・堀場製作所<sup>2</sup>・堀場アドバンスドテクノ<sup>3</sup>) ○森山 匠<sup>1</sup>・北  
川 雄一<sup>1</sup>・柏木 伸介<sup>2</sup>・赤路 佐希子<sup>2</sup>・川口 佳彦<sup>3</sup>・小島 礼  
慈<sup>3</sup>・中田 靖<sup>2</sup>・三宅 司郎<sup>2</sup>

P1004S (14:00～15:30) 共鳴ラマン散乱法による高分子材料中  
の紫外線吸収剤の選択検出(豊田中研) ○加藤 雄一・須藤 栄  
一

P1005S (14:00～15:30) 企業での商品開発をリードする分析研  
究(イノベーション研) ○山口 秀幸・水越 利巳

P1006S (14:00～15:30) 加速器質量分析法(AMS法)を用いた  
化粧品成分のヒト皮内動態解析法の確立と応用(コー  
セー<sup>1</sup>・城西大薬<sup>2</sup>・加速器分析研<sup>3</sup>) ○中野 恵介<sup>1</sup>・菊池 啓  
介<sup>2</sup>・濱邊 好美<sup>3</sup>・中出 正人<sup>1</sup>・亀山 浩一<sup>1</sup>・内藤 昇<sup>1</sup>・松井 隆  
雄<sup>3</sup>・藤堂 浩明<sup>2</sup>・杉林 堅次<sup>2</sup>

P1007S (14:00～15:30) 質量分析イメージングによる顔角層中  
成分分布解析技術の開発と応用(資生堂) ○木原 圭史・本山  
晃

P1008S (14:00～15:30) 安定同位体を利用した質量分析技術の  
紹介(大陽日酸) ○池田 明夏里

P1009S (14:00～15:30) 超臨界流体クロマトグラフィーによる  
界面活性剤の分離(花王<sup>1</sup>・九大生医研<sup>2</sup>) ○森内 章博<sup>1</sup>・和泉  
自泰<sup>2</sup>・馬場 健史<sup>2</sup>

P1010S (14:00～15:30) AGC旭硝子のニッチトップ分析技術  
～エッチング技術を活用したガラス成分の深さ方向分析～  
(AGC旭硝子先端研) ○菅野 直樹・秋山 良司・伊勢村 次秀

P1011S (14:00～15:30) 中身を守る容器の開発と分析(東洋製  
罐GHD綜研) ○細野 寛子・平川 叙夫・谷川 弥和子

P1012S (14:00～15:30) 日産化学工業の研究開発をリードする  
先端分析研究(材料科学分野)(日産化学工業) ○松原 功達

P1013S (14:00～15:30) 分析機器のリスク危機管理―地震対策  
の現状と提案―(キョウエー<sup>1</sup>・セノ<sup>2</sup>) ○加藤 恒雄<sup>1</sup>・小林 英  
治<sup>2</sup>

- P1014S (14:00～15:30) ポーラ化成工業における分析部門の役割(ポーラ化成工業)○小山 十糸子・川畑 真理絵・土屋 順子・森 茂樹
- P1015S (14:00～15:30) JFEスチールにおける研究開発と分析ソリューション(JFE)○石田 智治・城代 哲史・名越 正泰
- P1016S (14:00～15:30) キリン(株)基盤技術研究所の先端高度分析化学について(キリン基盤研) 楊箸 爽・○小泉 英樹
- P1017S (14:00～15:30) 製品含有化学物質管理を支える分析技術の開発(東芝研開セ)○盛本 さやか・沖 充浩・佐藤 友香
- P1018S (14:00～15:30) 旭化成(株)の研究開発における解析技術の役割～電子顕微鏡技術を中心に～(旭化成基盤研) 梅本 大樹・○菊間 淳
- P1019S (14:00～15:30) 創薬におけるバイオマーカー研究の重要性(エーザイ)○中村 立二
- P1020S (14:00～15:30) 異物分析をサポートする解析ツール—EDX-FTIR統合解析ソフトウェアの開発—(鳥津)○武内 誠治・岩前 はるか・岩崎 祥子・赤丸 久光・山本 学史
- 第2日(5月28日)**
- P2001 (10:45～12:15) 漢方処方エキスにおける生薬からの重金属元素の移行挙動(クラシエ製薬漢方研)○吉田 翔太・小此木 明・高橋 隆二
- P2002 (12:30～14:00) レーザーアブレーション-ICP-MSによる電子回路基板上はんだ接合部におけるPbの定量分析(矢崎総業)○吉澤 有美・吉川 裕輔
- P2003 (10:45～12:15) prepFAST S - ICP-MS/MSを用いた自動標準添加法による超高純度試薬の分析(アジレントインターナショナル<sup>1</sup>・Elemental Scientific, Inc.<sup>2</sup>)○酒井 和広<sup>1</sup>・山中一夫<sup>1</sup>・山中 理子<sup>1</sup>・Austin, Schultz<sup>2</sup>・Jong Soo, Kim<sup>2</sup>
- P2004 (12:30～14:00) 大容量注入-電気加熱原子吸光法による高マトリックス試料中Sbの高感度分析(日立ハイテクサイエンス)○山本 和子・片山 裕美子・坂元 秀之・米谷 明・西村 崇・白崎 俊浩
- P2005 (10:45～12:15) グロー放電質量分析計 Astrum(アストラム)を用いた深さ方向分析(アメテック)○高橋 隆子
- P2006 (12:30～14:00) DPDを発色試薬とする過硝酸の比色分析(阪技術研)○中島 陽一・井川 聡
- P2007 (10:45～12:15) 多変量解析を用いた比色分析法による金属イオンの簡易同時定量法の検討(阪市工研)○河野 宏彰
- P2008 (12:30～14:00) ナノ粒子を利用したプラスチックからの表面増強ラマン(2)(近畿大産業理工)○河津 博文
- P2009 (10:45～12:15) 蛍光光度計における多変量解析を用いた環境水有機物の評価手法開発(第2報)(日立ハイテクサイエンス)○岩谷 有香・堀込 純・白崎 俊浩
- P2010 (12:30～14:00) LEDを光源とする小型蛍光光度計の開発と2,3-ジアミノナフタレンを用いるセレン定量への応用(山梨大院総合研究<sup>1</sup>・山梨大生命環境<sup>2</sup>・愛媛大社会連携<sup>3</sup>・岡山大インキュベータ<sup>4</sup>・山梨大教<sup>5</sup>)○鈴木 保任<sup>1</sup>・勝瀬 大智<sup>2</sup>・藪谷 智規<sup>3</sup>・本水 昌二<sup>4</sup>・山根 兵<sup>5</sup>・川久保 進<sup>1</sup>
- P2011 (10:45～12:15) 教育現場での活用を目指した、レーザーを光源とする光路長可変型比濁計の開発と水道水中硫酸イオンの定量(上越教大)○下村 博志・二宮 祥彰
- P2012 (12:30～14:00) 散乱円偏光ラマン光学活性装置の開発(阪大院理)○山本 茂樹
- P2013 (10:45～12:15) 銅系顔料であるアズライトとマラカイトの科学分析(龍谷大理工)○藤原 学・松中 岩男
- P2014 (12:30～14:00) 和歌山カレーヒ素事件における職権鑑定の問題点(京大工)○河合 潤
- P2015 (10:45～12:15) Determination of some toxic elements in drinking water using total reflection X-ray analysis (Kyoto Univ.)○Bolortuya Damdinsuren・Jun Kawai
- P2016 (12:30～14:00) 産地推定を目指した松の木遺跡出土阿玉台式土器のX線回折分析(福岡大理)○市川 慎太郎・森川 美穂・栗崎 敏・山口 敏男
- P2017 (10:45～12:15) 極低角度入射ビームオージェ深さ方向分析における電子およびイオンビーム照射位置の調整方法に関する検討(物材機構)○荻原 俊弥
- P2018 (12:30～14:00) グルタミン酸センサーの作製(東北大院薬<sup>1</sup>・鶴岡高専<sup>2</sup>)○佐藤 勝彦<sup>1</sup>・上條 利夫<sup>2</sup>
- P2019 (10:45～12:15) ポリアニオンに応答して明瞭な色調変化を示す薄膜型センサーの創製(北見工大) Pyeon, Seong Eun・○兼清 泰正・押田 千里
- P2020 (12:30～14:00) リジン結合性酵素を用いるリジンの選択的計測のための条件検討(広島市大院情報)○釘宮 章光・日高 実優・齋藤 徹・香田 次郎・中野 靖久・鷹野 優
- P2021 (10:45～12:15) 有機フォトダイオードを用いる蛍光マイクロプレートリーダーの開発(東薬大薬<sup>1</sup>・首都大院都市環境<sup>2</sup>・メビウスAT<sup>3</sup>)○森岡 和大<sup>1</sup>・長嶋 萌子<sup>2</sup>・中嶋 秀<sup>2</sup>・辺見 彰秀<sup>3</sup>・曾 湖烈<sup>2</sup>・加藤 俊吾<sup>2</sup>・東海林 敦<sup>1</sup>・柳田 顕郎<sup>1</sup>・内山 一美<sup>2</sup>
- P2022 (12:30～14:00) [講演中止]
- P2023T (10:45～12:15) 超純水システム内の純水貯水方法が純水および超純水の水質に与える影響(エルガラボウオーター)○黒木 祥文
- P2024 (12:30～14:00) 真空紫外レーザーイオン化マルチターン質量分析装置を用いた石炭乾留ガスの測定(新日鐵住金先端研<sup>1</sup>・金沢大<sup>2</sup>・日鉄住金テクノロジー<sup>3</sup>)○辻 典宏<sup>1,2</sup>・藤部 康弘<sup>1</sup>・鈴木 哲也<sup>3</sup>・西藤 将之<sup>1</sup>・金橋 康二<sup>1,2</sup>
- P2025 (10:45～12:15) DIP/IA-QMSによるポリスチレン中不純物/添加剤の迅速測定法の検討(神戸工試<sup>1</sup>・産総研<sup>2</sup>)○三島 有二<sup>1</sup>・津越 敬寿<sup>2</sup>
- P2026 (12:30～14:00) TG/PI-QMSによるPS系のランダム/ブロックポリマーの判別(神戸工試<sup>1</sup>・産総研<sup>2</sup>)○三島 有二<sup>1</sup>・津越 敬寿<sup>2</sup>
- P2027 (10:45～12:15) 微量有機物の定性分析におけるGC/Q-TOFの有効性(アジレント)○笠松 隆志・小笠原 亮・中村 貞夫
- P2028 (12:30～14:00) モリブデン酸錯体形成を利用した糖アルコール分析—イオンペアHPLC法の検討—(富山衛研<sup>1</sup>・東海大理<sup>2</sup>・中部大応生<sup>3</sup>・金沢大環日本海域環境研究セ<sup>4</sup>)○健名 智子<sup>1</sup>・小玉 修嗣<sup>2</sup>・山本 敦<sup>3</sup>・井上 嘉則<sup>3</sup>・早川 和一<sup>4</sup>
- P2029 (10:45～12:15) マルチメソッドHPLCシステムによる食品添加物の多成分分析(アジレントテクノロジー)○熊谷 浩樹・見勢 牧男
- P2030 (12:30～14:00) 血漿およびマウス骨格筋中のダプトマイシンの定量法の開発(岐阜薬大<sup>1</sup>・岐阜大院連合創薬医療情報<sup>2</sup>) 阪井 祐介<sup>2</sup>・村上 絵莉子<sup>1</sup>・山本 拓平<sup>1</sup>・江坂 幸宏<sup>1,2</sup>・○宇野 文二<sup>1,2</sup>

- P2031 (10:45 ~ 12:15) イオン交換モジュールを利用したN-ニトロソアミン類のHPLC-化学発光検出 (鹿児島大院理工<sup>1</sup>・日理工業<sup>2</sup>・長崎大院工<sup>3</sup>) ○児玉谷 仁<sup>1</sup>・増長 洋登<sup>2</sup>・丸山 昇<sup>2</sup>・藤岡 貴浩<sup>3</sup>・富安 卓滋<sup>1</sup>
- P2032 (12:30 ~ 14:00) 表面増強ラマン散乱を用いた分離分析用振動分光検出器の開発 (5) (右近工舎<sup>1</sup>・滋賀県大工<sup>2</sup>・香川大工<sup>3</sup>・産総研<sup>4</sup>) ○右近 寿一郎<sup>1</sup>・Balachandran Jayadevan<sup>2</sup>・John Cuya<sup>2</sup>・山本 裕子<sup>3</sup>・伊藤 民武<sup>4</sup>
- P2033 (10:45 ~ 12:15) アルコール燃料使用時の吸気バルブ摩耗原因調査 (豊田中研) ○小坂 悟・間瀬 謙・布川 公博・伊藤 宏
- P2034 (12:30 ~ 14:00) コアシェル型逆相HPLCカラムによる生薬成分分析-平面性を有するカラムによるベルベリンとパルマチンの分離改善効果— (安田女大薬) ○西 博行・武田 朋子・内田 佳那・泉田 莉菜・荒木 菜子
- P2035 (12:30 ~ 14:00) 有機リン化合物修飾シリカゲルを用いる白金吸着の検討 (和歌山大システム工) 明 剛史・○矢嶋 摂子
- P2036 (10:45 ~ 12:15) クマリン系亜鉛 (II) 錯体をプローブとするアニオンセンサーの開発 (阪教大<sup>1</sup>・阪市工研<sup>2</sup>) ○久保 埜 公二<sup>1</sup>・黄瀬 隆磨<sup>1</sup>・柏木 行康<sup>2</sup>・谷 敬太<sup>1</sup>・横井 邦彦<sup>1</sup>
- P2037 (10:45 ~ 12:15) SPME-GC/MSによる異臭分析における統計解析の活用 (アジレントテクノロジー) ○中村 貞夫・芹野 武
- P2038 (12:30 ~ 14:00) レソルシノールの測定・分析手法の検討 (日立ハイテクサイエンス) ○蛭田 多美・白崎 俊浩・豊崎 耕作・清水 克敏
- P2039 (10:45 ~ 12:15) 原子移動ラジカル重合に基づく中空シリカナノロッド内部へのアントラセン部位の導入法の開発 (和歌山大システム工) 斎藤 聖・○中原 佳夫・矢嶋 摂子
- P2040 (12:30 ~ 14:00) 磁化率による酵母細胞の評価 (カワノラボ) ○森 清香・河野 誠
- P2041 (10:45 ~ 12:15) ゲル濾過クロマトグラフィーを用いた表面修飾金ナノ粒子の精製 (秋田大院工学資源) ○田村 周士・松村 洋寿・尾高 雅文・小川 信明
- P2042 (12:30 ~ 14:00) 磁気泳動法による機能性粒子の分析 (カワノラボ) ○河野 誠・森 清香
- P2043 (10:45 ~ 12:15) Brust-Schiffirin ナノ粒子合成法における陰イオンの役割 (京大原子炉<sup>1</sup>・マンチェスター大<sup>2</sup>・ダイヤモンドソース<sup>3</sup>・龍谷大理工<sup>4</sup>・リーズ大<sup>5</sup>) ○上原 章寛<sup>1</sup>・S.G., Booth<sup>2</sup>・S.Y., Chang<sup>3</sup>・今井 崇人<sup>4</sup>・S.L.M., Schroeder<sup>5</sup>・R.A.W., Dryfe<sup>2</sup>
- P2044 (12:30 ~ 14:00) PEG 修飾されたメソポーラスシリカナノ粒子の合成と生体分析への応用 (福岡大理<sup>1</sup>・国立台湾大<sup>2</sup>) ○山口 敏男<sup>1</sup>・池田 城嗣<sup>1</sup>・吉田 亨次<sup>1</sup>・塩路 幸生<sup>1</sup>・Chung-Yusan Mou<sup>2</sup>
- P2045 (10:45 ~ 12:15) 氷にドープした金属イオンの局所構造 (東工大理院) ○原田 誠・徳増 宏基・岡田 哲男
- P2046 (12:30 ~ 14:00) 水素化物発生-ICPOES法による海水中のセレンの分析 (近畿大理工<sup>1</sup>・近畿大院総合理工<sup>2</sup>) ○中口 譲<sup>1</sup>・福田 佑樹<sup>2</sup>・小寺 沙弥<sup>1</sup>
- P2047 (10:45 ~ 12:15) 水中有害化学物質のオンサイト抽出手法の検討 (国立環境研) ○高澤 嘉一
- P2048 (12:30 ~ 14:00) 岐阜県水道水の水質分析とその特性評価 (徳島文理大理工<sup>1</sup>・日本水科研<sup>2</sup>) ○谷川 浩司<sup>1</sup>・吉田 知司<sup>1</sup>・池田 早苗<sup>2</sup>
- P2049 (10:45 ~ 12:15) 岐阜県名水の水質解析評価 (徳島文理大理工<sup>1</sup>・日本水科研<sup>2</sup>) ○吉田 知司<sup>1</sup>・谷川 浩司<sup>1</sup>・池田 早苗<sup>2</sup>
- P2050 (12:30 ~ 14:00) 簡易オートクレーブによる効率的酸化分解を組み合わせた全窒素・全りん分析のシステム化と実試料への適用 (共立理化学研) ○原 知里・村居 景太・石井 誠治・岡内 俊太郎
- P2051 (10:45 ~ 12:15) キレート剤水溶液中における有害金属イオンの鉱物表面への吸脱着挙動 (金沢大理工<sup>1</sup>・金沢大院自然<sup>2</sup>・西松建設技研<sup>3</sup>) ○澤井 光<sup>1</sup>・齋藤 誠<sup>2</sup>・牧 輝弥<sup>1</sup>・山崎 将義<sup>3</sup>・石渡 寛之<sup>3</sup>・長谷川 浩<sup>1</sup>
- P2052 (12:30 ~ 14:00) 腐植物質と金属イオンの錯生成における競合の影響 (徳大院理工<sup>1</sup>・徳大総合<sup>2</sup>) ○山本 祐平<sup>1</sup>・喜多 郁弥<sup>2</sup>・磯野 成美<sup>2</sup>・今井 昭二<sup>1</sup>
- P2053 (10:45 ~ 12:15) A method for the detection of a suite of nitrogenated polycyclic aromatic hydrocarbons in environmental samples using HPLC-FLD (金沢大環日本海域環境研究セ) ○Nagato, Gou
- P2054 (12:30 ~ 14:00) PM<sub>2.5</sub>一次発生源マーカーとしての多環芳香族炭化水素類の比較 (金沢大環日本海域環境研究セ<sup>1</sup>・金沢大薬<sup>2</sup>) Nagato, Gou<sup>1</sup>・唐 寧<sup>1</sup>・鳥羽 陽<sup>2</sup>・○早川 和一<sup>1</sup>
- P2055 (10:45 ~ 12:15) 昇温加熱式直接質量分析法による添加剤を指標とした樹脂の熱履歴評価法の紹介 (バイオクロマト) ○竹井 千香子・吉沢 賢一・志田 保夫
- P2056 (12:30 ~ 14:00) 昇温加熱式直接質量分析法による粘着テープに採取した微小異物の異同識別 (バイオクロマト) ○竹井 千香子・吉沢 賢一・志田 保夫
- P2057 (10:45 ~ 12:15) 欧州環境規制に対応したフタル酸エステル類の迅速スクリーニング分析の検討 (日立ハイテクサイエンス) 竹口 裕子・○大柿 真毅・大川 真・秋山 秀之・坂井 範昭・渡邊 将史・並木 健二
- P2058 (12:30 ~ 14:00) 過剰H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>存在下でのPODの触媒活性を用いる芳香族カルボン酸誘導体の発光反応とその定量分析への応用 (岡山理大理) 西村 征洋・十川 雄仁・猪口 雅彦・○尾堂 順一
- P2059 (10:45 ~ 12:15) びらん剤ルイサイトのSERS簡易測定の実験 (兵庫県大高度研<sup>1</sup>・科警研<sup>2</sup>・産総研健康工学<sup>3</sup>・ストローブ<sup>4</sup>) ○福岡 隆夫<sup>1</sup>・大類 保彦<sup>2</sup>・伊藤 民武<sup>3</sup>・今井 裕一<sup>4</sup>・瀬戸 康雄<sup>2</sup>
- P2060 (12:30 ~ 14:00) アミノグリコシド系抗生物質のグルコースオキシダーゼ酵素反応速度増大効果とその比色分析への応用 (福井県大生物資源) ○植松 宏平・荻 真太郎・上野 隆晃・片野 肇
- P2061 (10:45 ~ 12:15) 生体内深部をリアルタイム観察するための近赤外蛍光高分子ミセルプローブ (東理大基礎工<sup>1</sup>・東理大IFC<sup>2</sup>) ○上村 真生<sup>1,2</sup>・吉田 萌<sup>1</sup>・橋本 祐介<sup>1</sup>・梅澤 雅和<sup>1,2</sup>・曾我 公平<sup>1,2</sup>
- P2062 (12:30 ~ 14:00) ペプチド混合物の末端アミノ酸残基特異的定量方法の構築 (キリン基盤技術研) ○谷口 慈将・福島 祐子・門田 智之・米田 俊浩

- P2063 (10:45～12:15) トラックエッチドメンブレンフィルター内でのリゾチーム結晶成長と構造解析 (阿南高専<sup>1</sup>・徳島大院先端技<sup>2</sup>・徳島大院理工研<sup>3</sup>・愛媛大紙産業イノベ<sup>4</sup>) ○山田洋平<sup>1</sup>・岡田英理子<sup>2</sup>・鈴木良尚<sup>3</sup>・藪谷智規<sup>4</sup>
- P2064 (12:30～14:00) 毒性物質の生細胞可視化を目指した活性酸素種感受性細菌青色蛍光タンパク質コード遺伝子の開発 (京工織大院工芸科学) 伊原裕・岩上諒太郎・○柄谷肇
- P2065 (10:45～12:15) 古代食解明を目的とした調理後炭化物の理化学分析 (第2報) (東医保大<sup>1</sup>・アワズテック<sup>2</sup>・日冷検<sup>3</sup>・森林総研<sup>4</sup>・食総研<sup>5</sup>) ○大道公秀<sup>1</sup>・小林孝洋<sup>1</sup>・奥脇早紀<sup>1</sup>・種あやめ<sup>1</sup>・中里真緒<sup>1</sup>・山本鈴夏<sup>1</sup>・西念幸江<sup>1</sup>・三舟隆之<sup>1</sup>・椎野博<sup>2</sup>・清水文雄<sup>2</sup>・橘田規<sup>3</sup>・中下留美子<sup>4</sup>・鈴木彌生子<sup>5</sup>

## 【 P会場若手ポスター 】

### 第1日 (5月27日)

- Y1001 (10:45～12:15) 流れ方式流動場分離 (Asymmetrical Flow Field-Flow Fractionation; AF4)-ICP-MS法による金ナノ粒子のサイズ分布計測の性能評価 (新日鐵住金先端研<sup>1</sup>・高エネ研<sup>2</sup>・総研大<sup>3</sup>) ○板橋大輔<sup>1</sup>・村尾玲子<sup>1</sup>・水上和実<sup>1</sup>・高木秀彰<sup>2</sup>・木村正雄<sup>2,3</sup>
- Y1002 (12:30～14:00) ドロプレットICP-MSを用いた単一ヒト細胞の質量分析 (東工大未来研<sup>1</sup>・関学大理工<sup>2</sup>・東工大先端原子力研<sup>3</sup>) ○河野聡史<sup>1</sup>・相田真里<sup>1</sup>・三宅智子<sup>1</sup>・岩井貴弘<sup>2</sup>・宮原秀一<sup>1</sup>・島田幹男<sup>3</sup>・松本義久<sup>3</sup>・千葉光一<sup>2</sup>・沖野晃俊<sup>1</sup>
- Y1003 (10:45～12:15) ICP-MSを用いた三田市近郊武庫川流域河川水中における希土類元素の挙動評価 (関学大理工) ○岡本淳・Mrabawani, Nanda・岩井貴弘・壺井基裕・千葉光一
- Y1004 (12:30～14:00) 酸溶解性固相抽出剤を用いた水中微量重金属の定量 (明大研究知財戦略機構<sup>1</sup>・明大理工<sup>2</sup>) ○萩原健太<sup>1</sup>・小池裕也<sup>2</sup>・中村利廣<sup>2</sup>・相澤守<sup>2</sup>
- Y1005 (10:45～12:15) 高速ハイパースペクトラルカメラ (Compovision) を用いたメダガ受精卵の発生過程における高速モニタリング (関学大院理工) ○安井唯・石垣美歌・西井崇・Paralee, Puangchit・尾崎幸洋
- Y1006 (12:30～14:00) 遠紫外分光法を用いた尿素およびN-メチルアセトアミドとLi塩で形成されるDeep Eutectic Solventsの電子状態の研究 (近畿大理工) ○西木戸和貴・森澤勇介
- Y1007 (10:45～12:15) ラマン分光法によるリン酸会合体の定量分析 (日大院工<sup>1</sup>・日大工<sup>2</sup>) ○小林隼人<sup>1</sup>・津藤圭佑<sup>2</sup>・沼田靖<sup>2</sup>・田中裕之<sup>2</sup>
- Y1008 (12:30～14:00) ラマン分光法によるオレイン酸-エライジン酸混合溶液の定量分析 (日大院工<sup>1</sup>・日大工<sup>2</sup>) 沼田靖<sup>2</sup>・○赤間佑希<sup>1</sup>・大波法彦<sup>2</sup>・葛西佑紀<sup>2</sup>・田中裕之<sup>2</sup>
- Y1009 (10:45～12:15) 表面増強ラマン散乱を用いた定量分析法の開発 (日大院工<sup>1</sup>・日大工<sup>2</sup>) ○長鈴知樹<sup>1</sup>・佐々木健太<sup>1</sup>・沼田靖<sup>2</sup>・田中裕之<sup>2</sup>
- Y1010 (12:30～14:00) LIBSによる液中分散微粒子の分析における光ピンセット効果の利用：粒子のトラップに要する時間と粒子数密度の関係 (京大工<sup>1</sup>・京大院工<sup>2</sup>・原子力機構<sup>3</sup>) ○宮川翔太<sup>1</sup>・西直哉<sup>2</sup>・天野健一<sup>2</sup>・若井田育夫<sup>3</sup>・作花哲夫<sup>2</sup>
- Y1011 (10:45～12:15) 酒石酸およびそのアルカリ金属塩の電子状態 (6) (龍谷大理工<sup>1</sup>・富山大院理工<sup>2</sup>) ○中村亮太<sup>1</sup>・藤原学<sup>1</sup>・原田忠夫<sup>1</sup>・大澤力<sup>2</sup>
- Y1012 (12:30～14:00) 過塩素酸ナトリウム類の固相還元反応 (龍谷大理工) ○岡本竜弥・藤原学
- Y1013 (10:45～12:15) モリブデンブルー法に用いられるモリブデンおよびヘテロ原子の電子状態の解明 (3) (龍谷大理工) ○福井喬太・藤原学
- Y1014 (12:30～14:00) 波長分散型蛍光X線イメージングによる元素モニタリングの基礎検討 (阪市大院工) ○会田翔太・辻幸一
- Y1015 (10:45～12:15) 鋼板の微生物腐食過程の共焦点型微小部蛍光X線分析法によるその場観察 (阪市大院工) ○細見凌平・辻幸一
- Y1016 (12:30～14:00) 卓上型蛍光X線分析装置を用いた2次励起効果の検証 (阪市大院工<sup>1</sup>・日本電子<sup>2</sup>) ○細見凌平<sup>1</sup>・朱静遠<sup>1</sup>・辻幸一<sup>1</sup>・高橋はるな<sup>2</sup>
- Y1017 (10:45～12:15) 放射光を用いた炭素繊維強化プラスチックの顕微化学状態解析 (新日鐵住金先端研<sup>1</sup>・高エネ研物構研<sup>2</sup>・東大院理<sup>3</sup>) ○原野貴幸<sup>1</sup>・村尾玲子<sup>1</sup>・武市泰男<sup>2</sup>・木村正雄<sup>2</sup>・高橋嘉夫<sup>3</sup>
- Y1018 (12:30～14:00) ポータブル全反射蛍光X線分析装置による微量元素製剤の効果評価法の開発に関する研究 (東理大工) ○菅原悠吾・国村伸祐
- Y1019 (10:45～12:15) ポータブル全反射蛍光X線分析装置を用いた米中微量元素分析法の開発に関する研究 (東理大工) ○清文乃・国村伸祐
- Y1020 (12:30～14:00) 軟X線吸収分光法によるリチウムイオン電池正極活物質材としてのキノン系有機化合物の電子状態分析 (物材機構<sup>1</sup>・東北大多元研<sup>2</sup>) ○永村直佳<sup>1,2</sup>・北田祐太<sup>2</sup>・谷木良輔<sup>2</sup>・本間格<sup>2</sup>
- Y1021 (10:45～12:15) XAFS法とRaman法による水溶液中の酢酸カルシウムの構造解析 (広島大院工) ○西尾大輔・來間拓也・Munoz-Noval Alvaro・田村文香・早川慎二郎
- Y1022 (12:30～14:00) 重心補正を行う蛍光X線CT法による毛髪内部の元素分布評価 (広島大院工<sup>1</sup>・JASRI<sup>2</sup>・高知大教育<sup>3</sup>) ○近藤涼介<sup>1</sup>・大和拓馬<sup>1</sup>・Munoz-Noval Alvaro<sup>1</sup>・本多定男<sup>2</sup>・西脇芳典<sup>2,3</sup>・早川慎二郎<sup>1,2</sup>
- Y1023 (10:45～12:15) 可搬型ガンマ線検出器を用いた水中放射セシウムのオンサイト分析 (明大院理工<sup>1</sup>・明大理工<sup>2</sup>・明大研究知財戦略機構<sup>3</sup>) ○藤井健悟<sup>1</sup>・増岡佑哉<sup>2</sup>・萩原健太<sup>3</sup>・小池裕也<sup>2</sup>
- Y1024 (12:30～14:00) <sup>19</sup>F-NMRを用いた種々の脂質ナノエマルジョンの温度応答に対する中性脂質の影響の検討 (京薬大) ○田島栞・峯松奈央・飯間莉紗・武上茂彦・小西敦子・北出達也
- Y1025 (10:45～12:15) トリアラキジンナノエマルジョンに封入した<sup>19</sup>F-NMRプローブの緩和時間  $T_1$  と  $T_2$  の温度依存性 (京薬大) ○峯松奈央・田島栞・飯間莉紗・武上茂彦・小西敦子・北出達也
- Y1026 (12:30～14:00) 難溶性銀塩析出を利用したアニオンのクーロメトリー定量 (京工織大院工芸科学<sup>1</sup>・東北大多元研<sup>2</sup>) ○長谷部万希<sup>1</sup>・福山真央<sup>2</sup>・吉田裕美<sup>1</sup>・前田耕治<sup>1</sup>

- Y1027 (10:45 ~ 12:15) 高電流密度バイオカソード開発のためのSWCNT/GOコンポジット電極の作製 (佐賀大理工<sup>1</sup>・岡山大先端コア<sup>2</sup>・佐賀大院工<sup>3</sup>) ○鷹取 拓弥<sup>1</sup>・仁科 勇太<sup>2</sup>・富永 昌人<sup>1,3</sup>
- Y1028 (12:30 ~ 14:00) イオンと電子の膜透過の共役過程における電気的中性の破れ (京工織大院工芸科学<sup>1</sup>・東北大多元研<sup>2</sup>) ○南井 一志<sup>1</sup>・棟安 研介<sup>1</sup>・福山 真央<sup>2</sup>・吉田 裕美<sup>1</sup>・前田 耕治<sup>1</sup>
- Y1029 (10:45 ~ 12:15) 生体膜モデル系としての自己組織化単分子膜修飾電極での電子移動反応 (神戸大院理) ○山本 卓哉・上木 美里・岩田 知也・大塚 利行
- Y1030 (12:30 ~ 14:00) 1,2-ジクロロエタン/水界面におけるイオン移動ギブズエネルギーの測定および非ボルン型理論の適用 (神戸大院理) ○山田 晃嘉・吉田 絵里奈・大塚 利行
- Y1031 (10:45 ~ 12:15) 電位差測定を利用した異化金属還元細菌の電子放出能に関する検討 (阪府大院工) ○石木 健吾・岡田 和也・椎木 弘・長岡 勉
- Y1032 (12:30 ~ 14:00) Organic/inorganic nanocomposite and its analytical applications (阪府大院工) ○Nguyen, Quang Dung・木下 隆将・椎木 弘・長岡 勉
- Y1033 (10:45 ~ 12:15) 異化金属還元細菌による金属ナノ粒子生成過程の追跡 (阪府大院工) ○岡田 和也・石木 健吾・椎木 弘・長岡 勉
- Y1034 (12:30 ~ 14:00) 神経軸索を模擬した液膜型セル系を用いた外部電気刺激による膜電位変化の発現と伝播 (京大院農) ○加地 麻衣子・白井 理・北隅 優希・加納 健司
- Y1035 (10:45 ~ 12:15) 定常状態における薬物輸送の電気化学的評価 (京大院農) ○高石 雅貴・白井 理・北隅 優希・加納 健司
- Y1036 (12:30 ~ 14:00) カチオン性ペプチドの脂質二分子膜を介した膜透過 (京工織大院工芸科学<sup>1</sup>・東北大多元研<sup>2</sup>) ○宮城 政弘<sup>1</sup>・大松 照政<sup>1</sup>・吉田 裕美<sup>1</sup>・福山 真央<sup>2</sup>・前田 耕治<sup>1</sup>
- Y1037 (10:45 ~ 12:15) 銀微粒子被覆炭素電極を用いた塩化物イオンのクーロメトリー定量 (京工織大院工芸科学<sup>1</sup>・東北大多元研<sup>2</sup>) ○杉本 啓伍<sup>1</sup>・長谷部 万希<sup>1</sup>・福山 真央<sup>2</sup>・吉田 裕美<sup>1</sup>・前田 耕治<sup>1</sup>
- Y1038 (12:30 ~ 14:00) 液液界面電荷移動ボルタンメトリー用電解セルの開発と性能評価 (龍谷大理工) ○山村 亮太・松山 裕樹・糟野 潤
- Y1039 (10:45 ~ 12:15) 多段階カラム電極システムを用いた重金属イオンの分離分析 (龍谷大理工) ○山崎 拓也・山本 潤・糟野 潤
- Y1040 (12:30 ~ 14:00) 液液界面におけるパラジウム粒子の生成機構の解明 (龍谷大理工) ○金山 雄斗・西村 若菜・糟野 潤
- Y1041 (10:45 ~ 12:15) One-dimensional Pt nanofibers formed by the redox reaction at the ionic liquid/water interface (京大院工) ○Yu Zhang・Naoya Nishi・Ken-ichi Amano・Tetsuo Sakka
- Y1042 (12:30 ~ 14:00) Bacterial recognition using cell-imprinted microsphere (阪府大院工) ○単 学凌・山内 卓弥・椎木 弘・長岡 勉
- Y1043 (10:45 ~ 12:15) スルホベタイン誘導体化学修飾ポリ塩化ビニル膜を膜材料とするイオン感応膜のセンサー性能 (和歌山大システム工<sup>1</sup>・産総研<sup>2</sup>) ○澁谷 薫<sup>1</sup>・新谷 望<sup>1</sup>・石垣 裕真<sup>1</sup>・田中 陸生<sup>2</sup>・矢嶋 摂子<sup>1</sup>
- Y1044 (12:30 ~ 14:00) L-フェニルアラニン由来キラルレセプターを有するポリ (フェニルアセチレン) の合成と比色キラル識別機構 (旭川高専<sup>1</sup>・北大院工<sup>2</sup>) ○間藤 芳允<sup>1</sup>・小澤 駿<sup>1</sup>・梅田 哲<sup>1</sup>・津田 勝幸<sup>1</sup>・佐藤 敏文<sup>2</sup>・覚知 豊次<sup>2</sup>・堺井 亮介<sup>1</sup>
- Y1045 (10:45 ~ 12:15) ボルタンメトリーによる余剰酸測定に基づくアミノ酸の定量 (東薬大) ○北村 香苗・小谷 明・金子 直人・山本 法央・袴田 秀樹
- Y1046 (12:30 ~ 14:00) 自己組織型比色ケモセンサーアレイによる金属イオン類の同時検出 (東大生研<sup>1</sup>・山形大院理工<sup>2</sup>) ○佐々木 由比<sup>1,2</sup>・時任 静士<sup>2</sup>・南 豪<sup>1</sup>
- Y1047 (10:45 ~ 12:15) 高感度・高速可塑化PVC膜センサー開発を指向した疎水性イオン液体色素分子開発における色素導入効率の検討 (阪府大院工) ○水田 巽・高居 周生・松下 裕司・末吉 健志・遠藤 達郎・久本 秀明
- Y1048 (12:30 ~ 14:00) 木質バイオマス炭化物のVOC吸脱着特性 (2) (神奈川大理<sup>1</sup>・AIST<sup>2</sup>) ○田中 悠平<sup>1</sup>・林 千優<sup>1</sup>・岡部 敏弘<sup>1</sup>・津越 敬寿<sup>2</sup>・西本 右子<sup>1</sup>
- Y1049 (10:45 ~ 12:15) ドロップレットデジタルPCRを指向したマイクロフルイディック単分散油中水滴調製法の開発 (同志社大院理工<sup>1</sup>・同志社大理工<sup>2</sup>) ○小白金 俊勲<sup>1</sup>・大倉 直朗<sup>1</sup>・橋本 雅彦<sup>2</sup>
- Y1050 (12:30 ~ 14:00) PDMSマイクロ流体チップを用いたハンズオフエマルジョン調製法における液滴生成レートの高速化 (同志社大院理工<sup>1</sup>・同志社大理工<sup>2</sup>) ○田中 悠悟<sup>1</sup>・村田 悠喜<sup>1</sup>・橋本 雅彦<sup>2</sup>
- Y1051 (10:45 ~ 12:15) 微小構造体を配列した電気浸透流ポンプの送液性能評価 (京大院工) ○井上 弘貴・内藤 豊裕・久保 拓也・大塚 浩二
- Y1052 (12:30 ~ 14:00) 生細胞内におけるGタンパク質 - GPCR間相互作用の定量的一分子解析 (東大院理) ○西口 知輝・吉村 英哲・小澤 岳昌
- Y1053 (10:45 ~ 12:15) ハイスループット滴定 (43滴定/分) を可能にするフィードバック/固定三角波制御フローレイショメトリー (徳島大院薬<sup>1</sup>・徳島大薬<sup>2</sup>) ○柿内 直哉<sup>1</sup>・宮崎 愛子<sup>2</sup>・竹内 政樹<sup>1,2</sup>・田中 秀治<sup>1,2</sup>
- Y1054 (12:30 ~ 14:00) マイクロピラーアレイにおけるピラー間隔が試料拡散に与える影響の評価 (京大院工) ○岩場 剛志・内藤 豊裕・久保 拓也・大塚 浩二
- Y1055 (10:45 ~ 12:15) スルフォラファンの光学異性体分析 ~ ブロココリーの花蕾と茎中の光学異性体比の検討 ~ (東海大理<sup>1</sup>・中部大応生<sup>2</sup>・富山大院理工<sup>3</sup>・近畿大薬<sup>4</sup>・ジールサイエンス<sup>5</sup>) ○岡田 真希子<sup>1</sup>・山本 敦<sup>2</sup>・會澤 宣一<sup>3</sup>・多賀 淳<sup>4</sup>・寺島 弘之<sup>5</sup>・小玉 修嗣<sup>1</sup>
- Y1056 (12:30 ~ 14:00) コーヒー生豆の産地判別法の検討 ~ 苦み成分と酸味成分の産地判別能 ~ (東海大理<sup>1</sup>・富山県砺波厚生セ<sup>2</sup>・石光商事<sup>3</sup>・ジールサイエンス<sup>4</sup>・中部大応生<sup>5</sup>) ○土肥 巧<sup>1</sup>・長瀬 博文<sup>2</sup>・石脇 智広<sup>3</sup>・寺島 弘之<sup>4</sup>・山本 敦<sup>5</sup>・小玉 修嗣<sup>1</sup>

- Y1057 (10:45 ~ 12:15) 銅錯体形成を利用したアルコール類の HPLC 分析 (東海大理<sup>1</sup>・富山大院理工<sup>2</sup>・中部大応生<sup>3</sup>・近畿大薬<sup>4</sup>・ジーエルサイエンス<sup>5</sup>) ○田中 壮平<sup>1</sup>・土肥 巧<sup>1</sup>・會澤 宣一<sup>2</sup>・山本 敦<sup>3</sup>・多賀 淳<sup>4</sup>・寺島 弘之<sup>5</sup>・小玉 修嗣<sup>1</sup>
- Y1058 (12:30 ~ 14:00) アフィニティ反応の高速・簡便化を目的とした新規スポンジモノリスの開発 (京大院工) ○西村 直樹・久保田 圭・谷川 哲也・内藤 豊裕・久保 拓也・大塚 浩二
- Y1059 (10:45 ~ 12:15) 分散相互作用クロマトグラフィー創成のための炭素材料固定化カラムの開発 (京大院工) ○金尾 英佑・内藤 豊裕・久保 拓也・大塚 浩二
- Y1060 (12:30 ~ 14:00) カフェイン酸の酸化機構の解明 (神戸大院海事<sup>1</sup>・奈良教大<sup>2</sup>) ○松本 健嗣<sup>1</sup>・堀田 弘樹<sup>1</sup>・山崎 祥子<sup>2</sup>
- Y1061 (10:45 ~ 12:15) エストロゲン受容体結合活性物質の活性選択的抽出を目的とした分子インプリントポリマーの開発 (京大院工<sup>1</sup>・国立環境研環境リスク研究セ<sup>2</sup>) ○中野 朋彦<sup>1</sup>・谷川 哲也<sup>1</sup>・内藤 豊裕<sup>1</sup>・中島 大介<sup>2</sup>・久保 拓也<sup>1</sup>・大塚 浩二<sup>1</sup>
- Y1062 (12:30 ~ 14:00) 有機溶液中パラジウムの含水アミン型樹脂による回収 (富山大院理工(工)<sup>1</sup>・中部大応生<sup>2</sup>) ○小幡 一誠<sup>1</sup>・宇田 貴尋<sup>1</sup>・源明 誠<sup>1</sup>・井上 嘉則<sup>2</sup>・加賀谷 重浩<sup>1</sup>
- Y1063 (10:45 ~ 12:15) 2-テノイルトリフルオロアセトン誘導体を化学修飾したシリカゲルによるネオジムの吸着および回収の検討 (和歌山大システム工) ○橋本 隼・岩橋 香純・矢嶋 摂子
- Y1064 (12:30 ~ 14:00) イオン液体支持液膜法による亜鉛 - チオシアナト錯体の輸送挙動 (東邦大理<sup>1</sup>・東邦大複合物性研セ<sup>2</sup>) ○須田 藍佳<sup>1</sup>・森田 耕太郎<sup>1</sup>・平山 直紀<sup>1,2</sup>
- Y1065 (10:45 ~ 12:15) 表面開始原子移動ラジカル重合により調製したポリアミン導入シリカゲルの元素捕捉特性 (富山大院理工(工)) ○菅原 豊・源明 誠・加賀谷 重浩
- Y1066 (12:30 ~ 14:00) TOPO による Fe(III) のシクロヘキサン/水/イオン液体三相系抽出挙動 (東邦大理<sup>1</sup>・東邦大複合物性研セ<sup>2</sup>) ○戸井田 美月<sup>1</sup>・森田 耕太郎<sup>1</sup>・平山 直紀<sup>1,2</sup>
- Y1067 (10:45 ~ 12:15) カルボキシメチル化ポリエチレンイミン型キレート樹脂を用いた微量元素の高速固相抽出分離に及ぼす基材樹脂の多孔性の影響 (富山大院理工(工)<sup>1</sup>・中部大応生<sup>2</sup>) 加賀谷 重浩<sup>1</sup>・前 優也<sup>1</sup>・源明 誠<sup>1</sup>・井上 嘉則<sup>2</sup>
- Y1068 (12:30 ~ 14:00) カチオン混合イオン液体へのアニオン性錯体のイオン交換抽出挙動 (東邦大理<sup>1</sup>・東邦大複合物性研セ<sup>2</sup>) ○中川 知子<sup>1</sup>・森田 耕太郎<sup>1</sup>・平山 直紀<sup>1,2</sup>
- Y1069 (10:45 ~ 12:15) 曇点抽出法を利用する銀ナノ粒子のワンポット合成と両性イオン界面活性剤相への超高密度濃縮法の開発 (福島大理工<sup>1</sup>・Wake Forest Univ.<sup>2</sup>・福島大 IER<sup>3</sup>) ○永作 美有<sup>1</sup>・Willie Hinze<sup>2</sup>・高貝 慶隆<sup>1,3</sup>
- Y1070 (12:30 ~ 14:00) イオン液体キレート抽出におけるアニオン性抽出種の安定化に及ぼす抽出剤フルオロアルキル基の寄与 (東邦大理<sup>1</sup>・東邦大複合物性研セ<sup>2</sup>) ○山田 佳林<sup>1</sup>・江口 綾乃<sup>1</sup>・森田 耕太郎<sup>1</sup>・平山 直紀<sup>1,2</sup>
- Y1071 (10:45 ~ 12:15) 連続気孔を有するシリコン多孔体を用いる固相抽出 (愛知工大<sup>1</sup>・山梨大<sup>2</sup>) ○三木 雄太<sup>1</sup>・青柳 拓哉<sup>1</sup>・井上 嘉則<sup>2</sup>・村上 博哉<sup>1</sup>・手嶋 紀雄<sup>1</sup>
- Y1072 (12:30 ~ 14:00) アシルピラゾロン類を担持した XAD7 樹脂を用いた 13 族金属イオンの高選択的固相抽出 (京大化研<sup>1</sup>・阪府大高専<sup>2</sup>) ○大北 周太郎<sup>1</sup>・梅谷 重夫<sup>1</sup>・倉橋 健介<sup>2</sup>・宮本 大海<sup>2</sup>・甘水 君佳<sup>2</sup>・中谷 亮<sup>2</sup>・宗林 由樹<sup>1</sup>
- Y1073 (10:45 ~ 12:15) ピナコール保護基を有する含ホウ素 CTG 誘導体のジヒドロキシアントラキノン類に対する分子認識能評価 (阪工大工) 森内 隆代・井上 翼
- Y1074 (12:30 ~ 14:00) ポルフィリンバナジウム錯体のアニオン選択性評価 (阪工大工) 森内 隆代・東角 彰久
- Y1075 (10:45 ~ 12:15) 高分子試薬を用いたカリウムイオン検出法の開発 (山口大理<sup>1</sup>・山口大院創成科学<sup>2</sup>) ○浦 史将<sup>1</sup>・早稲田 愛鶴<sup>1</sup>・村上 良子<sup>2</sup>・藤原 勇<sup>2</sup>
- Y1076 (12:30 ~ 14:00) ジピコリルアミン型プローブ/シクロデキストリン複合体ゲルによるリン酸誘導体の認識機能評価 (上智大理工) ○相馬 涼佳・鳥居 靖子・鈴木 崇人・藤原 章司・橋本 剛・早下 隆士
- Y1077 (10:45 ~ 12:15) ルテニウム錯体修飾金ナノ粒子を用いた細菌の電気化学的検出 (上智大理工) ○佐藤 広基・岸 弓乃・土戸 優志・遠藤 明・橋本 剛・早下 隆士
- Y1078 (12:30 ~ 14:00) ビレン型糖認識蛍光プローブの機能評価におけるスパーサー効果 (上智大理工) ○小嶋 渉平・水田 祐司・杉田 巧・土戸 優志・橋本 剛・早下 隆士
- Y1079 (10:45 ~ 12:15) ドロップレットマイクロフルイディクス研究を支援する自動解析技術の開発 (同志社大院理工<sup>1</sup>・同志社大理工<sup>2</sup>) ○近藤 仁貴<sup>1</sup>・中小司 裕太<sup>1</sup>・橋本 雅彦<sup>2</sup>
- Y1080 (12:30 ~ 14:00) Ag ドープによるグルタチオン保護 Au クラスターの高效率発光と凝集誘起型の発光特性 (関西大化学生命工) ○彦惣 大輝・川崎 英也
- Y1081 (10:45 ~ 12:15) Dependence of the anchoring energy of water/liquid crystal interface on the interfacial excess of surfactant. (阪大院理) ○Fatma YESIL・Masayori SUWA・Satoshi Tsukahara
- Y1082 (12:30 ~ 14:00) 共焦点顕微鏡法による表面修飾シリカゲル/溶液系におけるポア・表面拡散過程の解析 (筑波大院数理物質) ○秦 克弥・佐藤 辰巳・中谷 清治
- Y1083 (10:45 ~ 12:15) 流動油面上真空蒸着法および熱分解法で合成された銀ナノ粒子のオレイン酸からオクタン酸への配位子交換反応の比較検討 (和歌山大システム工<sup>1</sup>・阪市工研<sup>2</sup>) ○岡田 宗一郎<sup>1</sup>・中原 佳夫<sup>1</sup>・家永 隆史<sup>1</sup>・渡辺 充<sup>2</sup>・玉井 聡行<sup>2</sup>・矢嶋 摂子<sup>1</sup>
- Y1084 (12:30 ~ 14:00) イオン液体|水界面を反応場とする金ナノファイバー生成過程の in-situ 分光エリプソメトリーによる追跡 (京大院工) ○高階 広樹・西 直哉・天野 健一・作花 哲夫
- Y1085 (10:45 ~ 12:15) 金ナノロッド近傍の多孔性シリカ層への近赤外蛍光色素の固定化と発光増強効果 (和歌山大システム工<sup>1</sup>・阪市工研<sup>2</sup>) ○津多 貴也<sup>1</sup>・中原 佳夫<sup>1</sup>・玉井 聡行<sup>2</sup>・矢嶋 摂子<sup>1</sup>
- Y1086 (12:30 ~ 14:00) リン酸銀を前駆体とする銀ナノシェル合成と評価 (和歌山大システム工) ○古谷 雄哉・門 晋平・矢嶋 摂子
- Y1087 (10:45 ~ 12:15) チオシアン酸銀の還元による中空銀ナノシェル生成反応の速度論的解析と反応機構の検討 (和歌山大システム工) ○西浦 将司・門 晋平・矢嶋 摂子

- Y1088 (12:30～14:00) ナノ粒子集合過程におけるリアルタイム電気抵抗測定的光誘導加速(阪府大院理<sup>1</sup>・阪府大院工<sup>2</sup>)  
○大橋 かるな<sup>1,2</sup>・山本 靖之<sup>1,2</sup>・栗田 慎也<sup>2</sup>・田村 守<sup>1</sup>・床波 志保<sup>2</sup>・飯田 琢也<sup>1</sup>
- Y1089 (10:45～12:15) マイクロ粒子の自己組織化を用いた光誘導型バイオ分析用基板の開発(阪府大院理<sup>1</sup>・阪府大院工<sup>2</sup>)  
○山田 研志<sup>1,2</sup>・山本 靖之<sup>1,2</sup>・清水 恵美<sup>2</sup>・田村 守<sup>1</sup>・床波 志保<sup>2</sup>・飯田 琢也<sup>1</sup>
- Y1090 (12:30～14:00) 金属キレート凍結溶媒抽出(東工大)  
○柳澤 健介・原田 誠・岡田 哲男
- Y1091 (10:45～12:15) コロイド粒子が吸着した気液界面の界面張力に2-プロパノールが及ぼす影響(京大工<sup>1</sup>・京大院工<sup>2</sup>)  
○宮崎 一輝<sup>1</sup>・西 直哉<sup>2</sup>・天野 健一<sup>2</sup>・作花 哲夫<sup>2</sup>
- Y1092 (12:30～14:00) 水素化物発生原子吸光光度法による環境水中のヒ素およびアンチモンの定量(鹿児島大院理工)  
○中川 美里・児玉谷 仁・神崎 亮・富安 卓滋
- Y1093 (10:45～12:15) 鹿児島湾奥部における海水中水銀濃度分布の季節変動(鹿児島大院理工)  
○三ツ井 亮洗・児玉谷 仁・神崎 亮・富安 卓滋
- Y1094 (12:30～14:00) 鹿児島県北部旧金鉱山周辺における水銀動態(鹿児島大院理工)  
○安松 空良・児玉谷 仁・神崎 亮・富安 卓滋
- Y1095 (10:45～12:15) 2016年から2017年の琵琶湖北湖における微量元素の動態(京大院化研<sup>1</sup>・滋賀県大環境科学<sup>2</sup>)  
○大塚 侑平<sup>1</sup>・中嶋 勇輔<sup>1</sup>・宗林 由樹<sup>1</sup>・丸尾 雅啓<sup>2</sup>
- Y1096 (12:30～14:00) X線検出およびラマンマッピングによる環境試料中ウラン微粒子の化学状態分析(原子力機構)  
○蓬田 匠・江坂 文孝・間柄 正明
- Y1097 (10:45～12:15) 微量元素組成とホウ素同位体比を用いた木材の産地判別技術開発に向けた検討(東理大<sup>1</sup>・環境科学技術研<sup>2</sup>)  
○柳沢 直哉<sup>1</sup>・阿部 善也<sup>1</sup>・高久 雄一<sup>2</sup>・中井 泉<sup>1</sup>
- Y1098 (12:30～14:00) 地熱水中のAs(III)およびAs(V)の分別定量(富山大院理工(工)<sup>1</sup>・東ソー<sup>2</sup>)  
加賀谷 重浩<sup>1</sup>・○天池 夏希<sup>1</sup>・服部 正寛<sup>2</sup>
- Y1099 (10:45～12:15) 超分子固相抽出材を用いた環境水中のセレンの価数別分離濃縮法(金沢大院自然<sup>1</sup>・金沢大理工<sup>2</sup>・GLサイエンス<sup>3</sup>)  
○宮口 真帆<sup>1</sup>・澤井 光<sup>2</sup>・古庄 義明<sup>3</sup>・牧 輝弥<sup>2</sup>・長谷川 浩<sup>2</sup>
- Y1100 (12:30～14:00) スプリット流路を利用するカスケード型ICP-MS法による放射性ストロンチウムと放射性ヨウ素の同時定量分析(福島大理工<sup>1</sup>・東大農<sup>2</sup>・パーキンエルマージャパン<sup>3</sup>・福島大IER<sup>4</sup>)  
○尾形 洋昭<sup>1</sup>・古川 真<sup>1,2,3</sup>・高貝 慶隆<sup>1,4</sup>
- Y1101 (10:45～12:15) 土壌中の選択配向性を有する粘土鉱物の定量条件の検討(明大理工<sup>1</sup>・明大院理工<sup>2</sup>・リガク<sup>3</sup>)  
○笠利 実希<sup>1</sup>・福田 大輔<sup>2</sup>・大淵 敦司<sup>1,3</sup>・小池 裕也<sup>1</sup>
- Y1102 (12:30～14:00) 水処理過程で生成するN-ニトロソジメチルアミン生成能評価法の再検討(鹿児島大院理工<sup>1</sup>・長崎大院工<sup>2</sup>)  
○谷末 武人<sup>1</sup>・児玉谷 仁<sup>1</sup>・藤岡 貴浩<sup>2</sup>・神崎 亮<sup>1</sup>・富安 卓滋<sup>1</sup>
- Y1103 (10:45～12:15) As汚染土壌に対するキレート洗浄と抽出メカニズムの解明(金沢大院自然<sup>1</sup>・金沢大理工<sup>2</sup>・西松建設技研<sup>3</sup>・福島大環放研<sup>4</sup>)  
○齋藤 誠<sup>1</sup>・澤井 光<sup>2</sup>・山崎 将義<sup>3</sup>・石渡 寛之<sup>3</sup>・Ismail M. M. Rahman<sup>4</sup>・牧 輝弥<sup>2</sup>・長谷川 浩<sup>2</sup>
- Y1104 (12:30～14:00) PEG,PPGと低級アルコールとの相互作用(神奈川大理)  
○松岡 史修・西本 右子
- Y1105 (10:45～12:15) ICP-MS/AESを用いた羽毛の産地判別法開発の試み(東理大理<sup>1</sup>・環境科学技術研<sup>2</sup>・CIL<sup>3</sup>)  
○寺田 健児<sup>1</sup>・阿部 善也<sup>1</sup>・中井 泉<sup>1</sup>・高久 雄一<sup>2</sup>・亀田 光昭<sup>3</sup>・小林 新<sup>3</sup>
- Y1106 (12:30～14:00) メトキシフェナミン鎮咳成分の高感度検出に向けた電位変調-電気化学発光挙動の解析と応用(信州大理)  
○新田 咲・金 継業・高橋 史樹
- Y1107 (10:45～12:15) 標的タンパク質を高精度に識別可能なプラスチック抗体の設計と合成(神戸大院工)  
○香門 悠里・竹内 俊文
- Y1108 (12:30～14:00) 法科学応用を目的としたカラートナーの異同識別法の開発(東理大理)  
○久保 祐介・小椋 彩音・阿部 善也・中井 泉
- Y1109 (10:45～12:15) リドカインを共反応物としたルテニウム錯体(Ru(bpy)<sub>3</sub><sup>2+</sup>)系の電気化学発光反応の解析(信州大理)  
○清水 亮・金 継業・高橋 史樹
- Y1110 (12:30～14:00) 暗視野顕微鏡を用いた金ナノ粒子凝集の単一クラスター解析によるマイクロRNAの高感度検出(愛媛大院理工<sup>1</sup>・愛媛大PROS<sup>2</sup>・理研<sup>3</sup>)  
○矢野 湧暉<sup>1</sup>・二艘木 優充<sup>1</sup>・小川 敦司<sup>2</sup>・朝日 剛<sup>1</sup>・前田 瑞夫<sup>3</sup>・座古 保<sup>1</sup>
- Y1111 (10:45～12:15) 分子鑄型金ナノ粒子を用いた光アンテナ形成による特定細菌の検出(阪府大院工)  
○木下 隆将・Nguyen Quang, Dung・椎木 弘・長岡 勉
- Y1112 (12:30～14:00) 三重極マイクロバンド電極を利用した負の誘電泳動による異種細胞パターンニング(兵庫県大院物質理)  
○菅野 尊公・水谷 文雄・安川 智之
- Y1113 (10:45～12:15) 金属ナノ粒子固定基板による蛍光増強(阪府大院工)  
○山内 卓弥・木下 隆将・椎木 弘・長岡 勉
- Y1114 (12:30～14:00) リアルタイムLSPRセンサーによる細胞応答評価の検討：血管内皮細胞の培養条件について(東洋大生命)  
○星野 翔平
- Y1115 (10:45～12:15) 蛍光イメージングのための温度応答性ナノ粒子による細胞取り込み制御の評価(慶大院薬)  
○勝山 直哉・根本 遼・佐野 文比古・綾野 絵里・蛭田 勇樹・金澤 秀子
- Y1116 (12:30～14:00) 顕微鏡による微生物観察のための導電性プラットフォームの作製(阪府大院工)  
○富山 智大・田村 琢磨・椎木 弘・長岡 勉
- Y1117 (10:45～12:15) Enzyme Linked Aptamer Assayによる抗体医薬bevacizumabの血中薬物濃度多検体分析法の開発(静岡県大薬<sup>1</sup>・東京農工大院工<sup>2</sup>)  
○山田 朋宏<sup>1</sup>・斎藤 太郎<sup>2</sup>・轟木 堅一郎<sup>1</sup>・塚越 かおり<sup>2</sup>・水野 初<sup>1</sup>・関 俊哲<sup>1</sup>・池袋 一典<sup>2</sup>・豊岡 利正<sup>1</sup>
- Y1118 (12:30～14:00) ホタテガイ加工廃棄物の有効利用方法の検討～卵殻を吸着剤としたCd回収方法の検討～(東京海洋大<sup>1</sup>・大成農材<sup>2</sup>)  
○秋光 吾郎<sup>1</sup>・任 恵峰<sup>1</sup>・杉浦 宏<sup>2</sup>・福田 量二<sup>2</sup>・川野 寛<sup>2</sup>